



三菱カーナビゲーションシステム

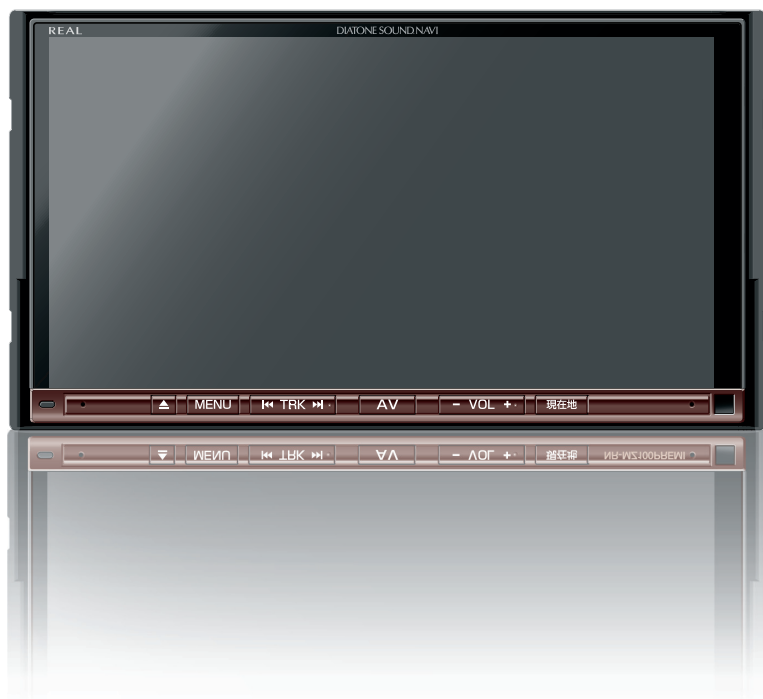
形名

NR-MZ200PREMI

取扱説明書

Tuning Bridge

DIATONE SOUND.NAVI



ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

⚠ 注意



- 初期設定 (P7) が完了するまで音を出さないでください。
スピーカー破損の原因となります。

Index

Operation

Sound Settings

3

設定するには	3
AVメニューを表示する	3
設定する	4
プレミアム認証を行う	5
初期設定	7
設定できる項目について	9
システム構成図	11
フロントフルレンジ	12
フロントフルレンジ+サブウーファー	12
フロントフルレンジ+リア	13
フロントフルレンジ+リア+サブウーファー	14
フロント2Way	15
フロント2Way +サブウーファー	16
フロント2Way +リア	17
フロント2Way +リア+サブウーファー	18
フロント3Way	19
フロント3Way +サブウーファー	21
フロント3Way +リア	23
フロント3Way +リア+サブウーファー	24
音質の設定を変更する	25
サラウンド設定	29
サウンドチューニング	29
User 設定を切り換える	42
イコライザー設定	42
PremiDIA Bass	43
PremiDIA VBL	44

イコライザー設定	52
フロントスピーカーのイコライザー調整 (プレミアムモードのみ)	53
リアスピーカーのイコライザー調整 (プレミアムモードのみ)	55
タイムアライメント設定	56
クロスオーバー設定 (フロント)	58
クロスオーバー設定 (リア)	70

Other

外部アンプを使用する場合の接続方法	45
用語解説	46
仕様	48
音質調整メモ	51

Operation

各機能の操作方法を説明します。

Sound Settings

設定するには

本機は、通常の音質調整が行える“スタンダードモード”と、同梱の Tuning Bridge カードを使用することで、さらに詳細な音質調整が行える“プレミアムモード”を用意しています。

お知らせ

- “プレミアムモード”で音質調整を行うときは本書をご覧ください。
- “スタンダードモード”で音質調整を行うときは、別冊の取扱説明書（基本操作版）をご覧ください。
- オーディオ再生時、Sound Settings 画面に切り換わるときと元の画面に戻るときに音質設定の変更を準備するため、一時的に音声が消音（ミュート）状態になりますが故障ではありません。
- Sound Settings 中とそれ以外の再生状態では演算方式が異なるため、Sound Settings を抜けると音質が変化（向上）します。
詳細はアジャスタブル FIR グラフィックイコライザー (P46) をご覧ください。
Sound Settings 中の FIR 方式の音質確認は IIR/FIR 切替を使用してください。
(→P32,33,34,35,36,37,38,39)

AVメニューを表示する

1 AV キーを押す

AVメニューまたは AV 再生画面を表示します。
AV 再生画面が表示された場合は、手順 2 へ進みます。

2 再度、AV キーを押す



AVメニューを表示します。

アドバイス

- AV 再生画面が表示されているとき、[AV Source] にタップすると、AV メニューを表示します。

設定する

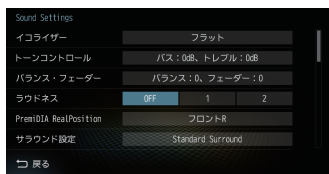
Audio ON の状態で設定してください。

1 AVメニューを表示する (→P3)

2 **Sound Settings** にタップする

音質調整ができる Sound Settings 画面を表示します。

3 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定モードについて

Sは“スタンダードモード”を Pは“プレミアムモード”を表し、設定可否を示しています。

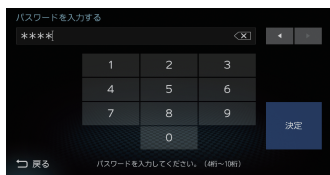
項目名	S	P
イコライザー (ジャンル選択)	○	○
10バンド イコライザー調整 (フロント/リアの同時調整)	○	○
トーンコントロール	○	○
バランス・フェーダー	○	○
LOUDNESS	○	○
PremiDIA RealPosition	○	○
サラウンド設定	○	○
DVD 音声モード切替 (オート/固定)	○	○
DRC 設定	○	○
DIATONE Volume	○	○
車速連動 VOL 調整	○	○
PremiDIA HD	○	○
バスブースト	○	○
PremiDIA Bass	○	○
PremiDIA VBL	○	○
Pure Audio Mode	○	○
タイムアライメント設定	○	○
クロスオーバー設定	○	○
31バンド イコライザー調整 (左右独立のフロント調整)	×	○
10バンドイコライザー調整 (左右独立のリア調整)	×	○
外部アンプ/内蔵アンプ設定	○	○
アンプシステム構成設定	×	○
フロントスピーカー構成	フルレンジ	○
	2Way	○
	3Way	×
車種選択	○	○
詳細車種選択	×	×

プレミアム認証を行う

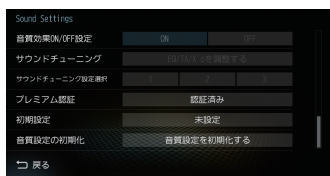
同梱の Tuning Bridge カードを使用してプレミアム認証を行います。プレミアム認証を行うことで、Sound Settings を「プレミアムモード」でご使用になれます。

通常の「スタンダードモード」でご使用の場合、本操作は必要ありません。

- 1 Tuning Bridge カードを本機の MUSIC スロットに挿入する
- 2 Sound Settings の画面で、「プレミアム認証」の **未認証** にタップする
- 3 **プレミアム認証** にタップする
- 4 パスワードを入力し、**決定** にタップする



工場出荷時のパスワードは「0000」です。



入力したパスワードが一致すると、認証が完了します。

アドバイス

- 認証が完了すると、手順2で[未認証]だったボタンが[認証済み]に変わり、「プレミアムモード」の使用が可能となります。
- 「初期設定」(P7) や「サウンドチューニング」(P29) を Tuning Bridge カードを取り出さず引き続き行ってください。
- 手順4で入力するパスワードは変更できません。→「パスワードを変更する」(P6)

Tuning Bridge カードについて

- 同梱の Tuning Bridge カードは「プレミアムモード」でご使用いただくための **プレミアム認証とサウンドチューニング** (P29) を行うときに必要となります。
- プレミアム認証とサウンドチューニング (P29) 完了後は、本機に挿入してなくてもご使用になれます。MUSIC スロットに好みの曲が入った SD カードを挿入し、お楽しみいただけます。
- Tuning Bridge カードを取り出した後、ACC を OFF → ON にすると、再認証が必要となります。再度、サウンドチューニング (P29) を行うときは以下の再認証を行ってください。

注意

- Tuning Bridge カードを紛失されると、再認証が行えず再度サウンドチューニング (P29) が行えませんので大切に保管してください。

再認証を行う

Tuning Bridge カードを取り出した後、ACC を OFF → ON にすると、「プレミアム認証」が [再認証] となります。

このとき、「初期設定」(P7) や「サウンドチューニング」(P29)、プレミアム認証のパスワード変更 (P6) が行えません。これらの設定を再度変更する場合は、以下の方法で再度認証を行ってください。

- 1 Tuning Bridge カードを本機の MUSIC スロットに挿入する
- 2 Sound Settings の画面で、「プレミアム認証」の **再認証** にタップする
- 3 **プレミアム認証** にタップする
- 4 パスワードを入力し、**決定** にタップする

入力したパスワードが一致すると、認証が完了します。

認証が完了すると、手順2で [再認証] だったボタンが [認証済み] に変わり、「プレミアムモード」の設定変更が可能となります。

■ パスワードを変更する

プレミアム認証用のパスワードを変更します。

お知らせ

- 同梱の Tuning Bridge カードを本機に挿入した状態で操作してください。
- パスワードは 4 桁～ 10 桁の数字が設定可能です。

1 Sound Settings の画面で、「プレミアム認証」の **認証済み** にタップする

アドバイス

- 「プレミアム認証」が [再認証] となっていた場合は、[再認証] にタップして認証をあらかじめ完了しておいてください。

2 **パスワードの変更** にタップする

3 新しいパスワードを入力し、**決定** にタップする



4 確認のため、再度新しいパスワードを入力し、**決定** にタップする

パスワードの変更が完了します。

パスワードを忘れてしまった場合

パスワードを忘れてしまった場合は、以下の方法で「音質設定の初期化」を行い、再度プレミアム認証を行ってください。(パスワードは工場出荷時の「0000」に戻ります。)

お知らせ

- Tuning Bridge カード内には、「初期設定」(P7) や「クロスオーバー設定」(P33)、「タイムアライメント設定」(P32)、「イコライザー調整」(P41) の情報がバックアップされています。再度認証を行うことで元の設定状態に戻すことができます。

1 AVメニューを表示する (→P3)

2 **Sound Settings** にタップする

音質調整ができる Sound Settings 画面を表示します。

3 「音質設定の初期化」の

音質設定を初期化する にタップする

4 **初期化する** にタップする

5 再度、**初期化する** にタップする

音質設定の初期化が完了します。
この後、再度プレミアム認証を行ってください。

初期設定

音質調整を行う前の準備を行います。
接続しているスピーカーのシステムやリスニングポジション、車の形状を設定します。

注意

- 初期設定が完了するまで音を出さないでください。スピーカー破損の原因となります。
- 初期設定を行うと、それまでに設定していたサウンドチューニングおよび初期設定の設定値が更新されます。

1 AVメニューを表示する (→P3)

2 Sound Settings にタップする

音質調整ができる Sound Settings 画面を表示します。

3 “初期設定”の 未設定 にタップする

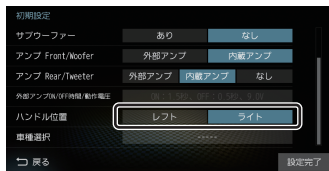
初期設定画面を表示します。

4 スピーカーのシステムにあった設定を行う



「システム構成図」(P11)を確認し、実際に取り付けているスピーカーシステム通りの設定を行ってください。
設定内容については「設定できる項目について」(P9)をご覧ください。

5 “ハンドル位置”を設定する



ハンドル位置を選択してください。タイムアライメント設定の基準となるリスニングポジションになります。

6 “車種選択”の --- にタップする

7 タイプで選ぶ にタップする

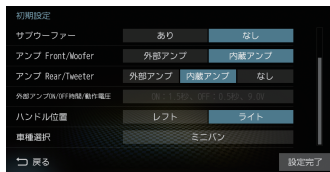
8 車の形状を選択する



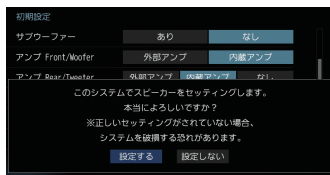
本機を接続している車に最も近い形状にタップします。

9 決定 にタップする

10 設定完了 にタップする



11 設定する にタップする



初期設定が完了します。

以降はスピーカーのシステム構成が変わらなければ変更する必要はありません。

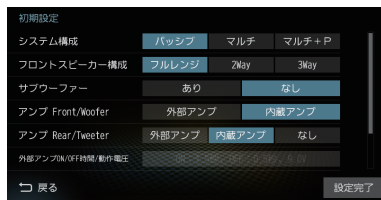
次のページにつづく

お知らせ

- Tuning Bridgeカード内には、「初期設定」(P7) や「クロスオーバー設定」(P33)、「タイムアライメント設定」(P32)、「イコライザー調整」(P41)の情報がバックアップされています。
- 「プレミアム認証」が[再認証]のときは“プレミアムモード”で本設定を行うことができません。Tuning Bridgeカードを本機に挿入し、再度プレミアム認証を行ってください。→「プレミアム認証を行う」(P5)
- 各設定完了後に「システム構成」または「フロントスピーカー構成」の設定を変更すると、プレミアムモードの設定内容がすべて消えます。(Tuning Bridgeカードのバックアップも消えます。)
- システム構成の[マルチ+P]を選択するとフロントスピーカー構成が[3Way/H]、[3Way/L]に切り換わります。「3way/H」は高域をパッシブネットワーク、低域をマルチアンプシステムで接続した場合に選択します。「3way/L」は低域をパッシブネットワーク、高域をマルチアンプシステムで接続した場合に選択します。

設定できる項目について

※ “スタンダードモード”と“プレミアムモード”とでは、設定内容が異なります。



設定名	設定値	設定内容
システム構成	パッシブ	アンプの構成がパッシブクロスオーバーネットワークの場合に選択してください。
	マルチ	アンプの構成がマルチアンプシステムの場合に選択してください。
	マルチ+P	アンプの構成がマルチアンプシステム+パッシブクロスオーバーネットワークの場合に選択してください。
フロントスピーカー構成 ※1	フルレンジ	フロントスピーカーの構成を設定します。装着されているフロントスピーカーの構成を選択してください。「3Way/H」は高域をパッシブネットワーク、低域をマルチアンプシステムで接続した場合に選択します。
	2Way	「3Way/L」は低域をパッシブネットワーク、高域をマルチアンプシステムで接続した場合に選択します。
	3Way	
	3Way/H	
サブウーファー	あり	サブウーファーの有無を設定します。サブウーファーを設置している場合は、[あり]を選択してください。
	なし	
アンプ Front/Woofers ※2	外部アンプ	フロントスピーカーまたはウーファーのアンプ構成を設定します。本機と、フロントスピーカーまたはウーファーの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
アンプ Rear/Tweeter ※2	外部アンプ	リアスピーカーまたはツイーターのアンプ構成を設定します。本機と、リアスピーカーまたはツイーターの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
	なし	リアスピーカーまたはツイーターがない場合は、[なし]を選択してください。
外部アンプON/OFF 時間/動作電圧 ※3	ON : 1.0 ~ 1.5 ~ 3.0秒	ACCをONにしたときやOFFにしたとき、外部アンプの電源がON/OFFになるまでの時間を0.1秒ごとに設定できます。
	OFF : 0.3 ~ 0.5 ~ 2.0秒	本機と外部アンプを接続するとACCをON/OFFしたときに異音ができることがあります。異音ができる場合は、時間を調整してください。
	電圧値: 6.0 ~ 9.0 ~ 14.0V	外部アンプの動作保証最低電圧値に設定してください。0.5Vごとに設定できます。
ハンドル位置	レフト	ハンドルの位置を選択してください。
	ライト	タイムアライメント設定の基準となるリスニングポジションになります。(フロントシートの右または左)

※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

次のページにつづく

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
車種選択	タイプで選ぶ	「タイムアライメント設定」(P32)の目安となる車の形状を設定します。 本機を装着している車の形状を選択してください。 (軽・コンパクト、ミニバン、セダン、SUV、ワゴン、1BOX)
	簡単プリセット	車幅やスピーカーのシステムを設定するだけで、簡単に初期設定ができます。 プレミアム認証を行うと本機能は使用できなくなります。 (→P5)
	車種を指定する	本機ではご使用になれません。
	設定しない	車種形状の情報を使用しません。 Sound Settings画面では[- - - -]と表示します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

- ※1 「システム構成」で「マルチ」を選択した場合は、「フロントスピーカー構成」は「2Way」のみとなり、「マルチ+P」を選択した場合は、「3Way/H」、「3Way/L」のみとなります。
- ※2 外部アンプやプロセッサーを使用した場合、それらの機器のゲイン、遅延時間やフィルタ特性によっては、電話音声にエコーがついたり、聞き取りにくくなったりする場合があります。
- ※3 「初期設定」(P7)で「サブウーファー」を[なし]に設定、「アンプ Front/Woofler」を[内蔵アンプ]に設定、「アンプ Rear/Tweeter」を[内蔵アンプ]または[なし]に設定した場合は選択できません。

お知らせ

- 「マルチ」とはマルチアンプシステムのことです。本機ではフロント2Wayのみがこのシステムの対象となります。
フロントスピーカーラインをウーファーに、リアスピーカーラインをツイーターに接続した場合がこのシステムとなります。
- 「マルチ+パッシブ」とはマルチアンプシステムとパッシブネットワークを組み合わせたシステムのことです。本機ではフロント3Wayのみがこのシステムの対象で、2種類の項目が選択できます。
「3Way/H」は高域をパッシブネットワーク、低域をマルチアンプシステムで接続した場合の設定で、リアスピーカーラインをパッシブネットワークを介してツイーターとミッドレンジに、フロントスピーカーラインをウーファーに接続します。
「3Way/L」は低域をパッシブネットワーク、高域をマルチアンプシステムで接続した場合の設定で、フロントスピーカーラインをパッシブネットワークを介してウーファーとミッドレンジに、リアスピーカーラインをツイーターに接続します。

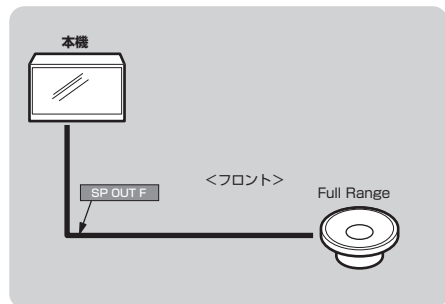
システム構成図

装着しているスピーカーのシステムを以下の表から探し、対象の構成図を確認してください。
「初期設定」(P7) で必要な設定値を確認できます。

システム	フロントスピーカー構成			サブウーファー 有無	外部アンプ有無		構成図 (ページ)	クロスオーバー 設定 (ページ)
	フルレンジ	2Way	3Way (H/L)		フロント	リア		
フロントのみ	●	-	-	-	-	-	A-1 (P12)	(P33)
					●	-	A-2 (P12)	(P33)
					-	-	B-1 (P12)	(P33)
				●	-	-	B-2 (P12)	(P33)
					-	-	E-1 (P15)	(P34)
					●	-	E-2 (P15)	(P34)
	-	●	-	-	-	-	F-1 (P16)	(P34)
					●	-	F-2 (P16)	(P34)
					-	-	I-1 (P19)	(P35)
				●	-	-	I-2 (P19)	(P35)
					-	-	J-1 (P21)	(P35)
					●	-	J-2 (P21)	(P35)
フロント+リア	●	-	-	-	-	-	C-1 (P13)	(P33)
					●	-	C-2 (P13)	(P33)
					-	●	C-3 (P13)	(P33)
				●	-	-	D-1 (P14)	(P33)
					●	-	D-2 (P14)	(P33)
					●	●	D-3 (P14)	(P33)
	-	●	-	-	-	-	G-1 (P17)	(P34)
					●	-	G-2 (P17)	(P34)
					-	●	G-3 (P17)	(P34)
				●	-	-	H-1 (P18)	(P34)
					●	-	H-2 (P18)	(P34)
					●	●	H-3 (P18)	(P34)
	-	-	●	-	-	-	K-1 (P23)	(P35)
					●	-	K-2 (P23)	(P35)
					-	●	K-3 (P23)	(P35)
				●	-	-	L-1 (P24)	(P35)
					●	-	L-2 (P24)	(P35)
					●	●	L-3 (P24)	(P35)
マルチ	-	●	-	-	-	E-3 (P15)	(P36)	
				●	●	E-4 (P15)	(P36)	
				-	-	F-3 (P16)	(P36)	
				●	●	F-4 (P16)	(P36)	
マルチ+パッシブ	-	-	-	-	-	I-3 (P19)	(P37)	
				●	●	I-5 (P20)	(P38)	
				-	-	I-4 (P19)	(P37)	
			●	-	-	I-6 (P20)	(P38)	
				-	-	J-3 (P21)	(P37)	
				●	●	J-5 (P22)	(P38)	
●	-	-	J-4 (P21)	(P37)				
	●	●	J-6 (P22)	(P38)				

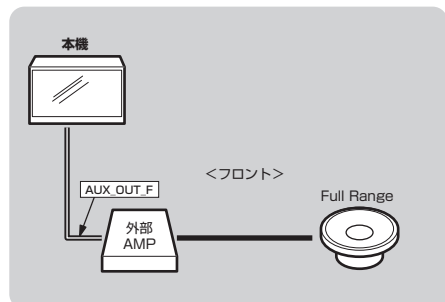
フロントフルレンジ

構成 A-1



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

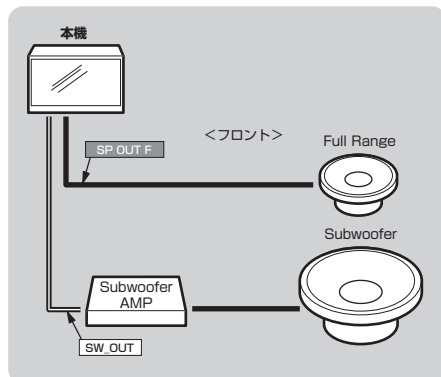
構成 A-2



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

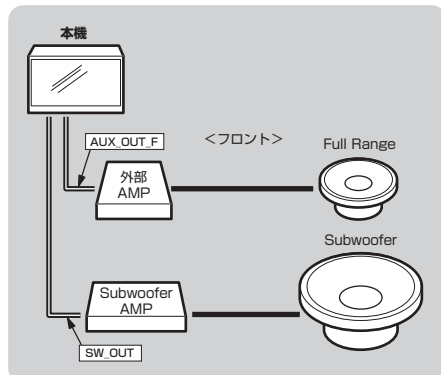
フロントフルレンジ+サブウーファー

構成 B-1



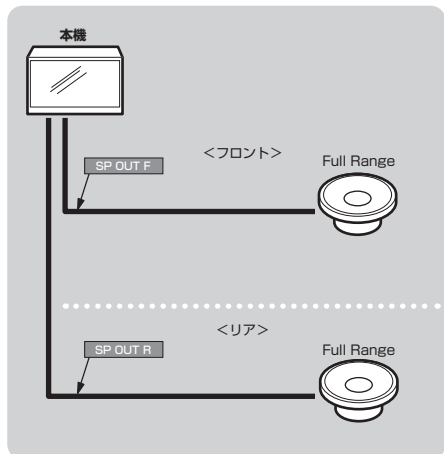
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 B-2



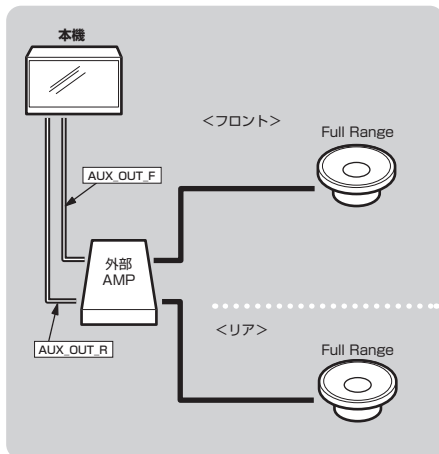
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 C-1



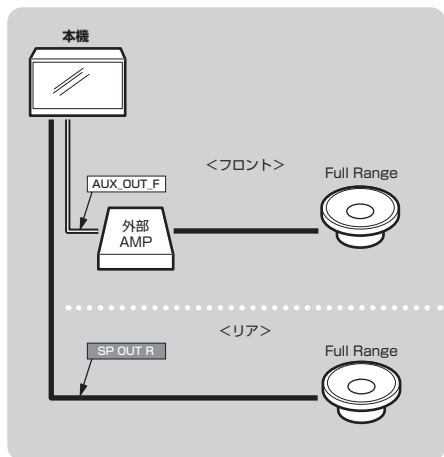
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 C-3



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

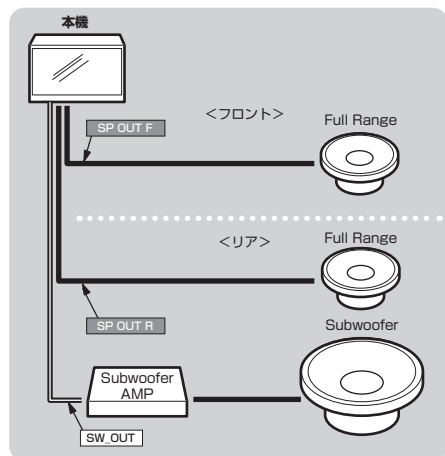
構成 C-2



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

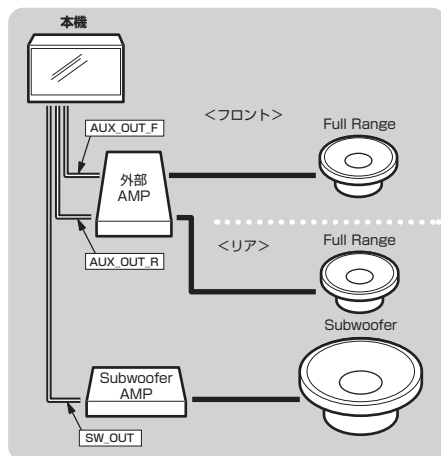
フロントフルレンジ+リア+サブウーファー

構成D-1



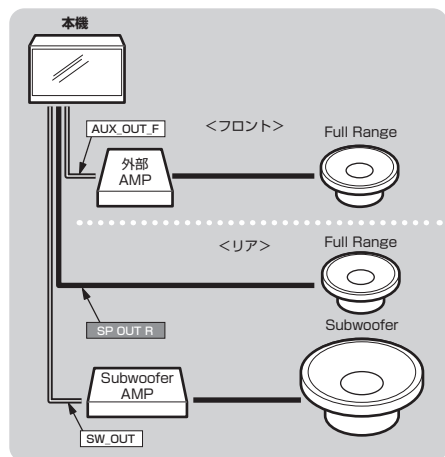
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成D-3



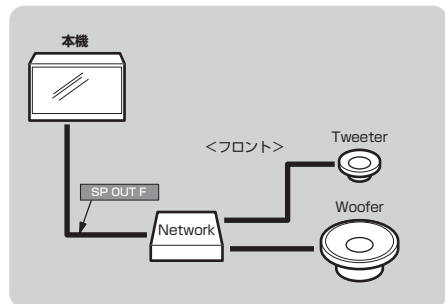
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

構成D-2



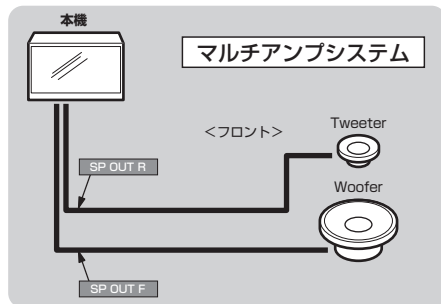
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	フルレンジ
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 E-1



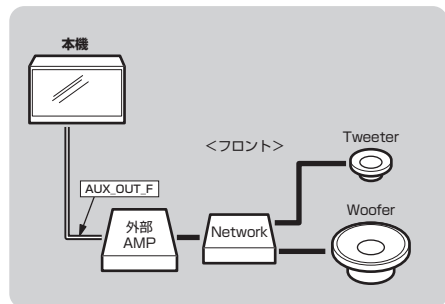
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 E-3



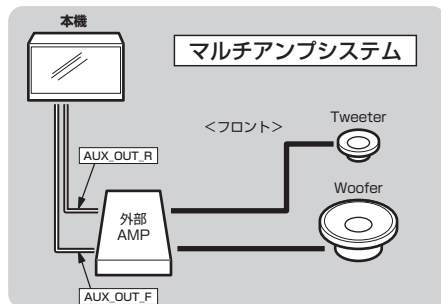
システム構成	マルチ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 E-2



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

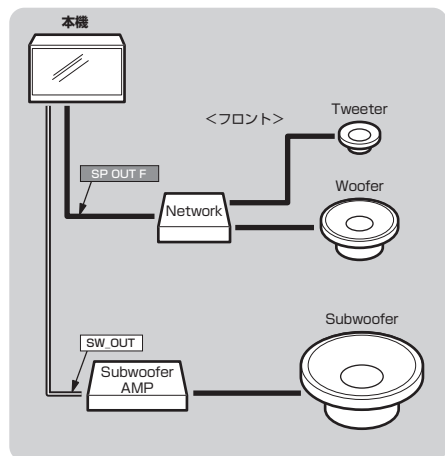
構成 E-4



システム構成	マルチ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

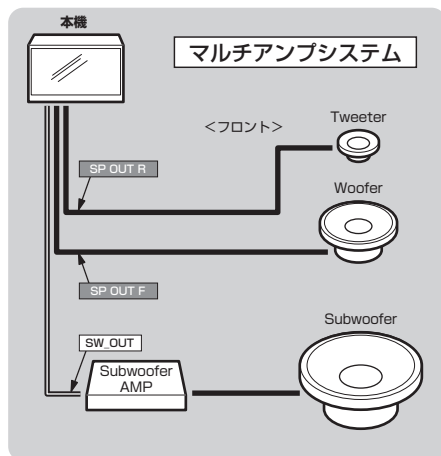
フロント2Way +サブウーファー

構成 F-1



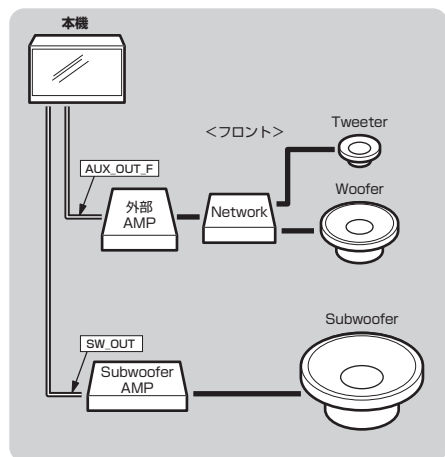
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 F-3



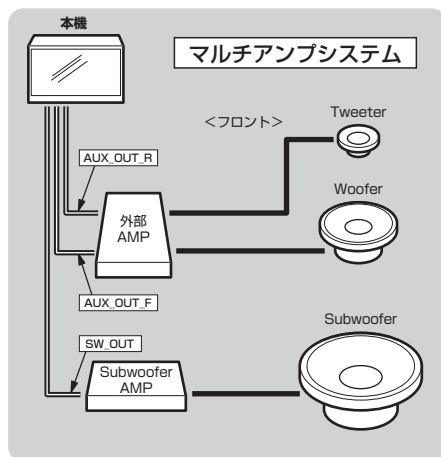
システム構成	マルチ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 F-2



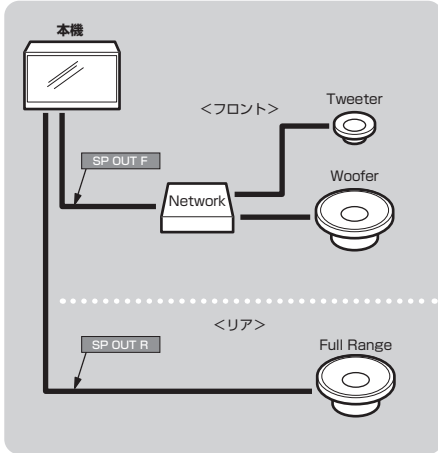
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 F-4



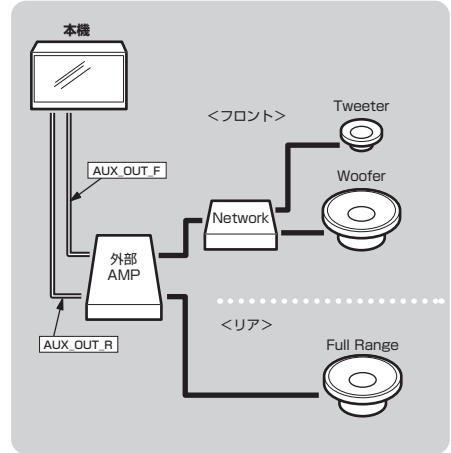
システム構成	マルチ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

構成 G-1



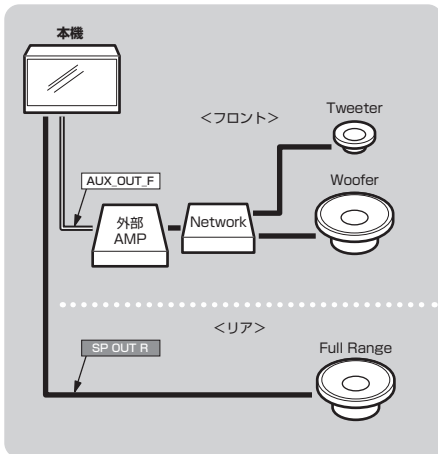
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofe	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 G-3



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofe	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

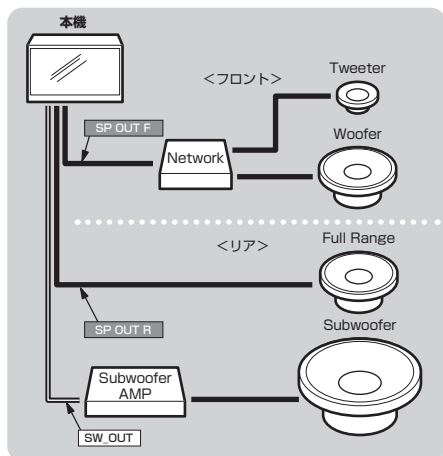
構成 G-2



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofe	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

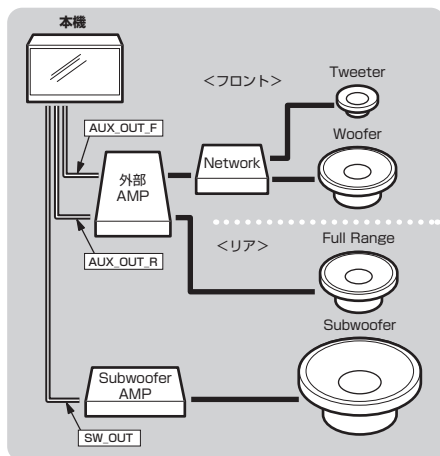
フロント2Way +リア+サブウーファー

構成 H-1



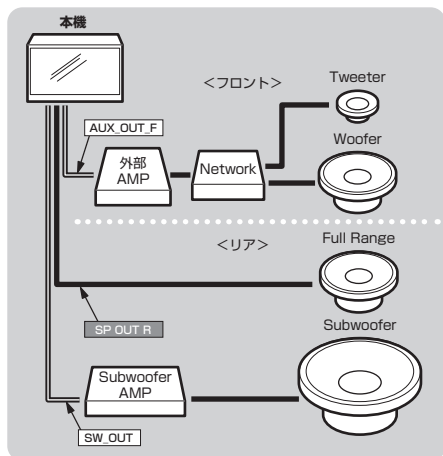
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofler	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 H-3



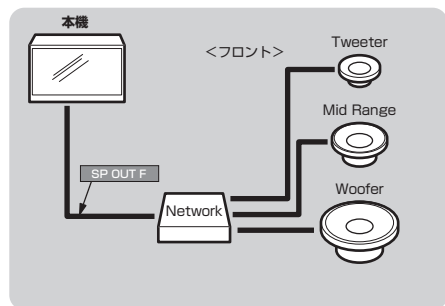
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofler	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

構成 H-2



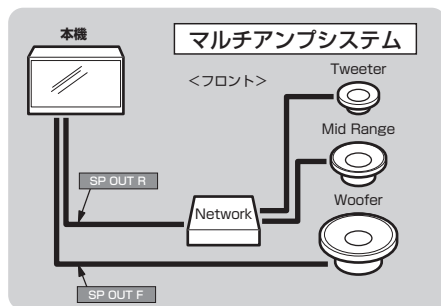
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	2Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofler	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 I-1



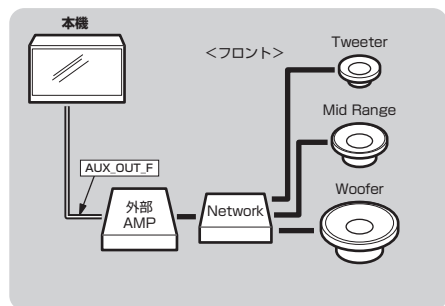
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 I-3



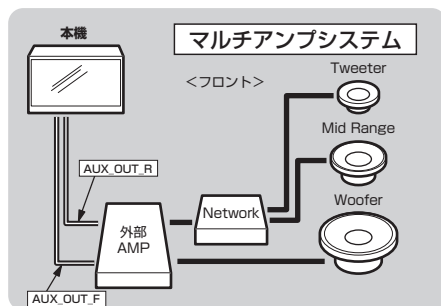
システム構成	マルチ+P
フロントスピーカー構成	3Way/H
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 I-2



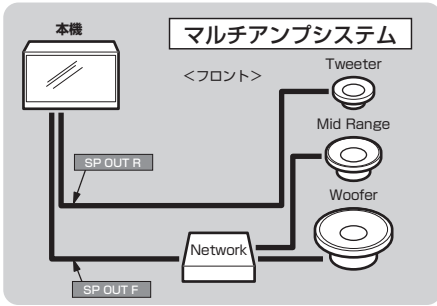
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 I-4



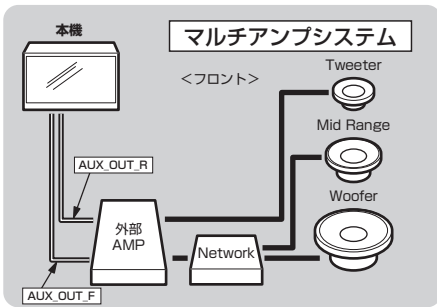
システム構成	マルチ+P
フロントスピーカー構成	3Way/H
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

構成 I-5



システム構成	マルチ+P
フロントスピーカー構成	3Way/L
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofer	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

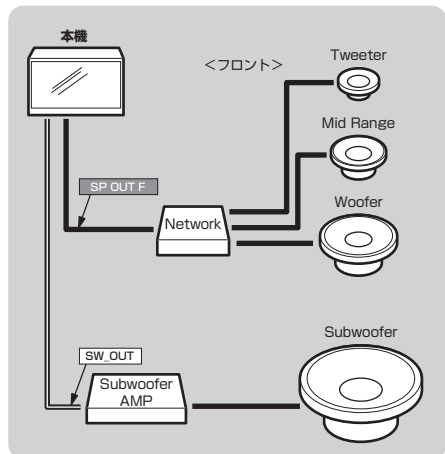
構成 I-6



システム構成	マルチ+P
フロントスピーカー構成	3Way/L
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofer	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

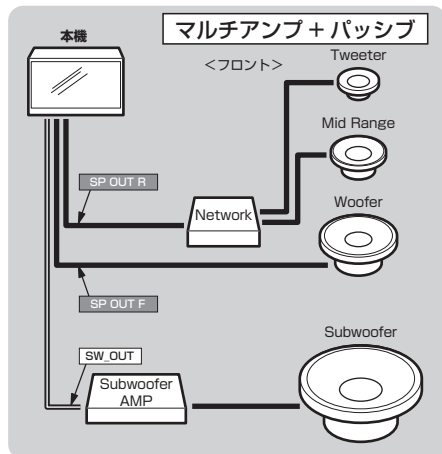
フロント3Way + サブウーファー

構成 J-1



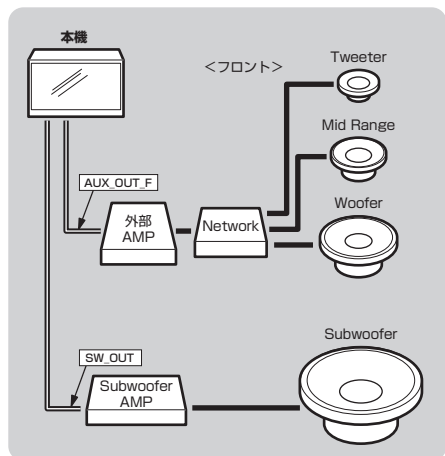
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 J-3



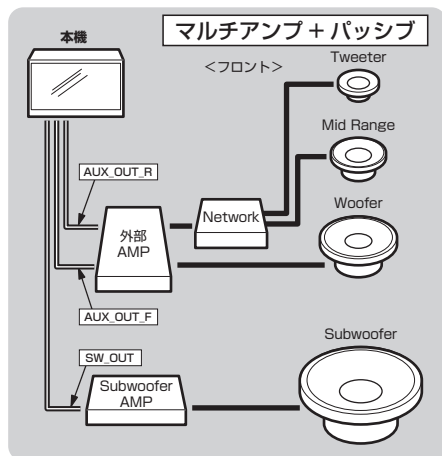
システム構成	マルチ + P
フロントスピーカー構成	3Way/H
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 J-2



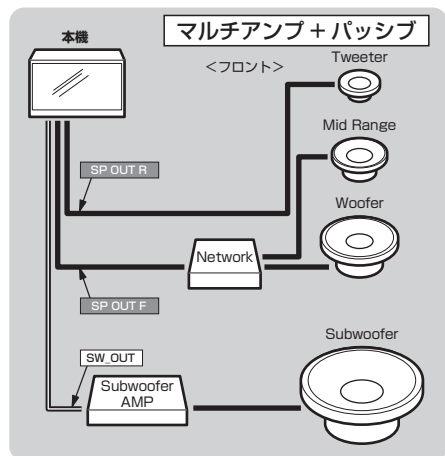
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	なし

構成 J-4



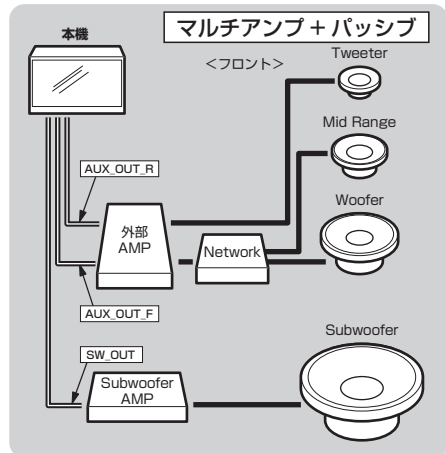
システム構成	マルチ + P
フロントスピーカー構成	3Way/H
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

構成 J-5



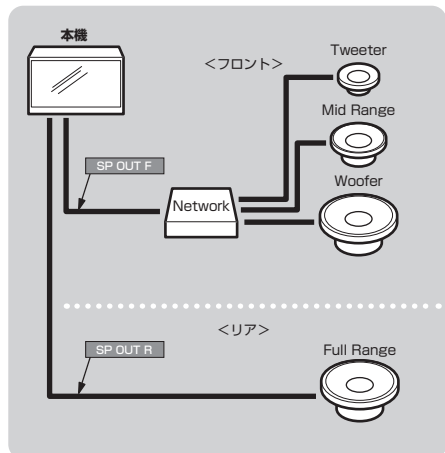
システム構成	マルチ+P
フロントスピーカー構成	3Way/L
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofer	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 J-6



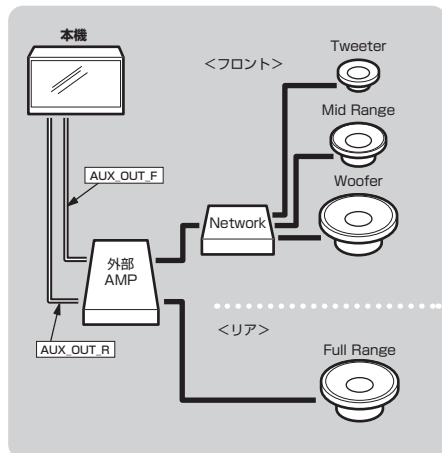
システム構成	マルチ+P
フロントスピーカー構成	3Way/L
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofer	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

構成 K-1



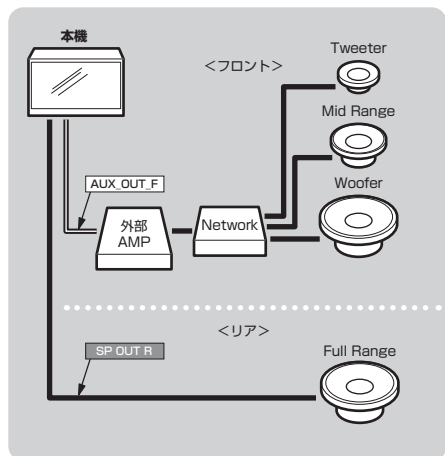
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofer	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 K-3



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofer	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

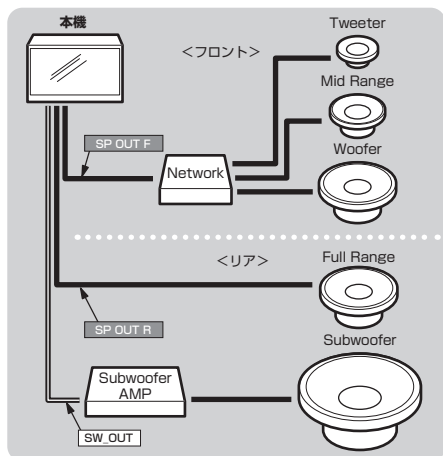
構成 K-2



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	なし
アンプ Front/Woofer	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

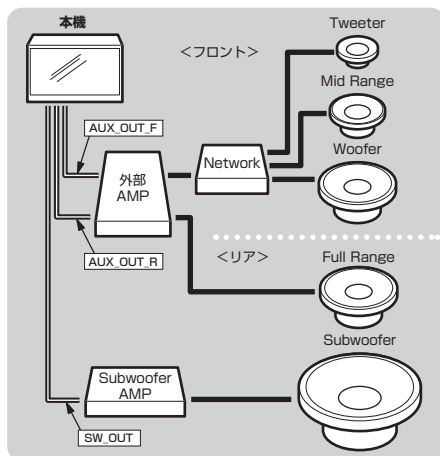
フロント3Way+リア+サブウーファー

構成 L-1



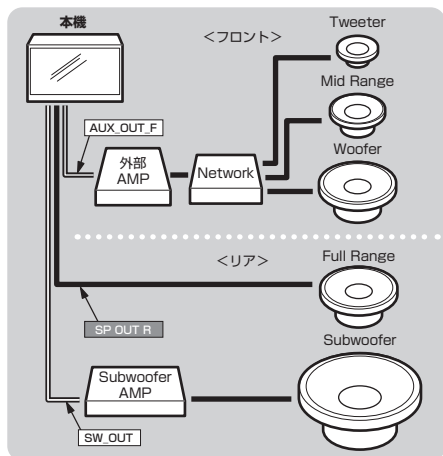
システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	内蔵アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

構成 L-3



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	外部アンプ

構成 L-2



システム構成	パッシブ
フロントスピーカー構成	3Way
サブウーファー	あり
アンプ Front/Woofers	外部アンプ
アンプ Rear/Tweeter	内蔵アンプ

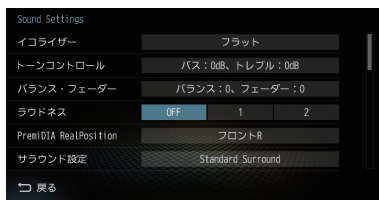
音質の設定を変更する

AVメニュー (P3) → [Sound Settings] にタップすると表示する Sound Settings 画面で以下の設定が変更できます。

お知らせ

- Audio ON で「音質効果 ON/OFF 設定」が [ON] の状態で設定してください。
- オーディオ再生時、Sound Settings 画面に切り換わるときと元の画面に戻るときに音質設定の変更を準備するため、一時的に音声が消音 (ミュート) 状態になりますが故障ではありません。
- Sound Settings 中とそれ以外の再生状態では演算方式が異なるため、Sound Settings を抜けると音質が変化 (向上) します。
詳細はアジャスタブル FIR グラフィックイコライザー (P46) をご覧ください。
Sound Settings 中の FIR 方式の音質確認は IIR/FIR 切替を使用してください。
(→P32,33,34,35,36,37,38,39)

設定できる項目について

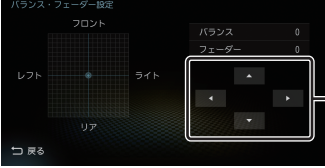



設定名	設定値	設定内容
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、10バンドの周波数に対する調整が行えます。(→P42)
	ロック	
	ジャズ	
	R & B	
	フラット	
	カスタム1	イコライザー調整画面で登録したイコライザー設定を呼び出します。
	カスタム2	
	調整	イコライザー調整画面に切り換わります。調整後、[カスタム1] または [カスタム2] に登録できます。
トーンコントロール	バス： -6 ~ 0 ~ +6dB	低音域 (100Hz以下) や高音域 (10kHz以上) の音量を 1dB ごとに強調/減衰させることができます。
	トレブル： -6 ~ 0 ~ +6dB	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

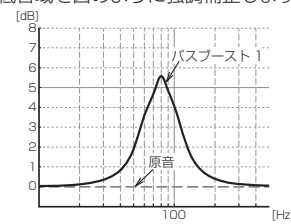
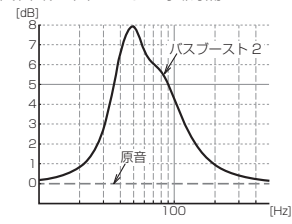
次のページにつづく

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
バランス・フェーダー	バランス： 1～9 (レフト) 0 1～9 (ライト)	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルボタンまたは直接タップして調節できます。 
	フェーダー： 1～9 (フロント) 0 1～9 (リア)	
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。
	1	
	2	
PremiDIA RealPosition	オール	最適な音を聴くシートを変更します。
	フロント	 <p>初期状態は「初期設定」(P7)の「ハンドル位置」と同じ状態になります。([ライト]または[レフト])</p>
	フロントL	
	フロントR	
定位バランス -5～0～5	フロント、リアの中音域の周波数特性を調整できます。 マイナス方向に補正すると音像が車両外側(窓側)に移動し、プラス方向に補正すると音像が車両中央側に移動します。 [オール]または[フロント]設定時に調整が可能となります。	
サラウンド設定	Standard Surround	DIATONE独自のサラウンド処理を行わず再生します。 DVDの5.1ch音源をフロント、リアの4chにダウンミックス再生し、リアスピーカーが無いシステムの場合は、2chにダウンミックスして再生します。また、CD、TV、ラジオ、SD、USBなどは2chで再生します。
	PremiDIA Surround	選択すると「Pure Extend Wide Surround」、[DIATONE SURROUND]の設定ができます。 PremiDIA Surround設定は、DIATONE独自のサラウンド処理を付加して、サラウンド効果を高めます。 2ch音声ソースの場合に「Pure Extend Wide Surround」が、5.1ch音声ソースの場合に「DIATONE SURROUND」が設定できます。
	Pure Extend Wide Surround for 2ch レベル1～10	[PremiDIA Surround]を選択すると設定できます。 フロントスピーカー(2ch)だけでCDなどのステレオ音源に高音質で自然な立体感のある音の広がりを与えます。(→P29) 2ch音声再生時に調整が可能となります。
	DIATONE SURROUND for マルチch レベル1～10	[PremiDIA Surround]を選択すると設定できます。 フロント(2ch)およびフロント/リア(4ch)のスピーカーだけで5.1chのサラウンド音響を再現できます。(→P29) DVDの5.1ch音声再生時に調整が可能となります。
	リアミュートON/OFF	リアスピーカーの音がミュートになります。再度、タップするとミュートが解除されます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
DVD 音声モード切替	オート	DVD 再生時、音源のフォーマットに応じて2ch 信号処理とマルチ ch 信号処理が自動で切り替わります。その際に発生する音声の頭切れを防止するため2ch またはマルチ ch の固定モードが設定できます。
	マルチ ch	
	2ch	
DRC 設定	ON	DVD 再生時の DRC (ダイナミックレンジ圧縮) を設定できます。ディスクを取り出した状態にして設定してください。
	OFF	
DIATONE Volume	OFF	オーディオソース間や楽曲内の音量の差を自動的に軽減できます。数字が大きいくほど軽減する補正値が大きくなります。
	1	
	2	
車速連動 VOL 調整	OFF	車の速度に応じて音量が自動的に調節されます。数字が大きくなるほど調節幅が大きくなります。
	1	
	2	
	3	
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	
PremiDIA HD 補正対象	全体	すべてのオーディオソースを対象に PremiDIA HD の補正を行います。(DVD の 5.1 ch 音声は除く)
	オート	補正対象： MusicFolder、音楽ファイル、iPod、TV、AUX、Bluetooth Audio を対象に PremiDIA HD の補正を行います。 補正対象外： 音楽 CD、ラジオ (FM/AM)、交通情報、DVD-Video、DVD-VR、Blu-ray プレーヤー、HDMI 出力機器は本設定の対象外となります。
バスブースト	OFF	バスブーストを使用しません。
	1	低音域を図のように強調補正します。 
	2	低音域を図のように強調補正します。 

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

次のページにつづく

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
PremiDIA Bass	OFF	時間軸方向の低音の残響時間を調整できます。(→P43)
	ON : 0 ~ 10	[ON]にすると低音の量感、厚みを増強できます。 フロント/リアでの個別の設定ができます。
PremiDIA VBL	OFF	自動で低音をカットする補正値を設定できます。(→P44)
	ON : 1 ~ 20	[ON]にすると大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。
Pure Audio Mode	ON	[ON]に設定するとTVを視聴していないときにTVチューナの電源がOFFになります。TVチューナの電源をOFFにすることでより高音質な音楽再生ができます。
	OFF	ただし、TVに切り換えた際のTV番組情報の表示が遅くなります(約5秒)。
音質効果 ON/OFF 設定	ON	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF]
	OFF	にすると初期設定を除く音質調整内容を一時的に無効にします。(調整した内容が消えることはありません) このとき、一部の音質設定項目は選択できないようになります。「バランス・フェーダー」、「DVD音声モード切替」、「DRC設定」、「Pure Audio Mode」は選択できます。
サウンドチューニング ^{*1} ^{*2}	EQ/TA/X'oを調整する	「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」、左右独立で調整できる「イコライザー調整」 ^{*1} を設定できます。(→P29)
サウンドチューニング設定選択	1	サウンドチューニングで登録した「User1」、「User2」、「User3」に切り換えられます。
	2	
	3	
プレミアム認証	未認証	音質調整を「プレミアムモード」に変更するための認証を行います。(→P5) 認証には同梱のTuning Bridgeカードが必要です。
	認証済み	プレミアム認証が完了していることを示します。
	再認証	プレミアム認証完了後、Tuning Bridgeカードが抜かれた状態で、ACCをOFF→ONにするとこの表示になります。
初期設定 ^{*1}	未設定	オーディオの音質調整に必要な初期設定を行うことができます。(→P7)オーディオ機能がOFFの状態で行ってください。[未設定]になっている場合は必ず行ってください。
	設定済み	
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	「プレミアム認証」を含むSound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。オーディオ機能がOFFの状態で行ってください。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 「プレミアムモード」の場合、「プレミアム認証」が[再認証]のときは選択できません。

※2 「PremiDIA RealPosition」と「初期設定」(P7)の「ハンドル位置」が同じシートでなければ選択できません。

サラウンド設定

「Pure Extend Wide Surround」や「DIATONE SURROUND」の設定ができます。2ch音声ソースの場合は「Pure Extend Wide Surround」に、5.1ch音声ソースの場合は「DIATONE SURROUND」に自動で切り換わります。

Pure Extend Wide Surround

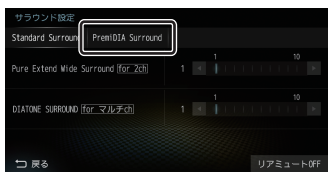
フロントスピーカー（2ch）だけでCDなどのステレオ音源に高音質で自然な立体感のある音の広がりを与えます。レベルを10方向へ補正すると音の広がりが大きくなります。2ch音声再生時に調整が可能となります。

DIATONE SURROUND

フロント（2ch）およびフロント/リア（4ch）のスピーカーだけで5.1chのサラウンド音響を再現できます。レベルを10方向へ補正すると5.1chのサラウンド効果が大きくなります。DVDの5.1ch音声再生時に調整が可能となります。

1 Sound Settingsの画面で「サラウンド設定」の項目にタップする
サラウンド設定画面を表示します。

2 「PremiDIA Surround」にタップする



3 左右のカーソルボタンでレベルを調整する



4 「戻る」にタップする

サラウンド設定が完了します。

アドバイス

- [リアミュートOFF]にタップすると、リアスピーカーの音がミュートになります。再度、タップするとミュートが解除されます。

サウンドチューニング

「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」、左右独立で調整できる「イコライザー調整」が設定できます。

お知らせ

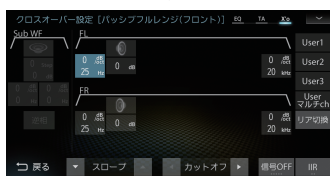
- 「初期設定」(P7)の「ハンドル位置」と「PremiDIA RealPosition」が同じシートでなければ本機能は使用できません。「音質効果ON/OFF設定」が[OFF]のときや「PremiDIA Surround」が設定されているときも使用できません。

1 Sound Settingsの画面で「サウンドチューニング」の「EQ/TA/X'oを調整する」にタップする



タイムアライメント設定画面 (→P32)

2 画面を左にスライドする



クロスオーバー設定画面 (→P33)

3 画面を右に2回スライドする

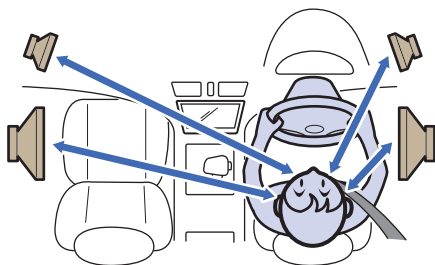


イコライザー調整画面 (→P41)

4 画面を左にスライドする

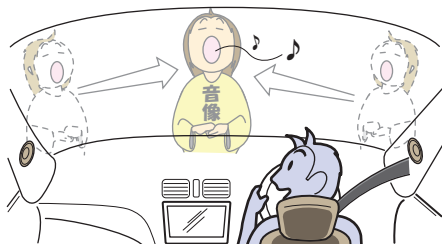
タイムアライメント設定画面に戻ります。

タイムアライメントについて



車の中では、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離がそれぞれ違うため、楽曲が本来持つ音像や音場が再現できていません。

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を本機に入力することで、リスニングポジションまでの音の到達時間を補正できます。



その結果、音が同時にリスニングポジションへ到達するようになり、音像や音場がより再現できるようになります。

→「タイムアライメント設定」(P32)

マルチウェイ・タイムアライメント

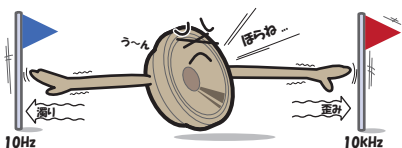
タイムアライメントを行うには、スピーカーユニットごとにパワーアンプを装備したマルチチャンネルシステムにする必要がありました。当社が開発した独自の引き算型FIRデジタルネットワークアルゴリズムを搭載することにより、パッシブネットワークを使用したマルチウェイスピーカーシステムでも特性を乱さずに各スピーカーを独立かつ任意に時間補正することを実現しました。

2chのパワーアンプ1台でシステム構築ができることにより、高域から低域までのすべての音域を同一のパワーアンプがカバーするので、音色に統一感ができます。

クロスオーバーについて

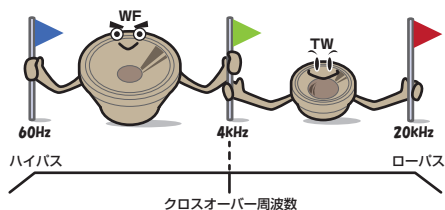


ツイーターやウーファーなどスピーカーにはそれぞれ再生可能な周波数帯域というものがあります。



しかし、再生可能な帯域であっても周波数が高すぎたり低すぎたりすると音の歪みや濁りが発生します。

クロスオーバー設定では、各スピーカーの特性(得意とする部分)を活かした再生周波数帯域に調整できます。



その結果、各スピーカーが余裕を持って動作するようになり、音の歪みや濁りを無くし、より音質を高めることができます。

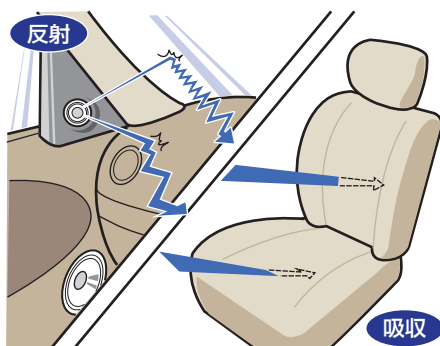
→「クロスオーバー設定」(P33)

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。



イコライザー調整について



ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱れがちです。



そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクオリティーをさらに引き出すことができます。

→「イコライザー調整」(P41)

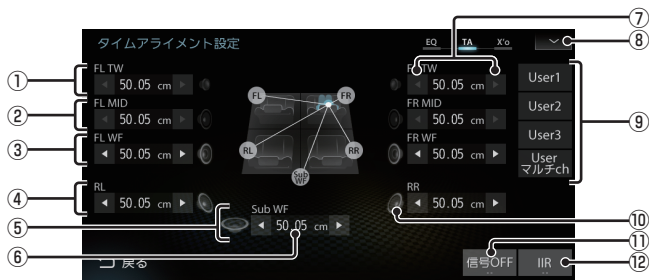
■ タイムアライメント設定

スピーカーユニットの中心から顔の中心までの直線距離をメジャーで直接測り、その距離を目安として入力してください。

また、一番遠いスピーカーユニットから他のスピーカーユニットの距離を引いた距離を入力することも同様に設定できます。スピーカーユニットの位置をすべて一番遠いスピーカーユニットと同じ距離にするイメージです。

お知らせ

- ・「初期設定」(P7)の「車種選択」で選んだ形状の値があらかじめ目安として入力されています。「車種選択」が「— — — —」の場合はすべての距離が「50.05cm」となります。



※ 画面例はフロント3Way + リア + サブウーファー装着状態です。

※ 初期設定 (P7) で、設定されていないスピーカーは選択できません。

① フロントツイーター

② フロントミッドレンジ

③ フロントウーファー

④ リアスピーカー

⑤ サブウーファー

⑥ 0.00 cm

リスニングポジションまでの距離を示します。

サブウーファー以外：0.00 ~ 192.5cm

サブウーファーのみ：0.00 ~ 338.8cm

⑦ ◀, ▶

タップすると、スピーカーの距離を変更できます。(0.77cm/1step)

⑧ ▼ (→P40)

タップすると、サブメニューを表示します。

⑨ User○, Userマルチch

タップすると、前回登録したタイムアライメント設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑩ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑪ 信号OFF / 信号ON (→P40)

タップするたびに、[信号ON] → [信号OFF] → [信号ON]と切り換わります。信号は、タイムアライメント設定用のテスト信号です。

⑫ IIR / FIR ※1

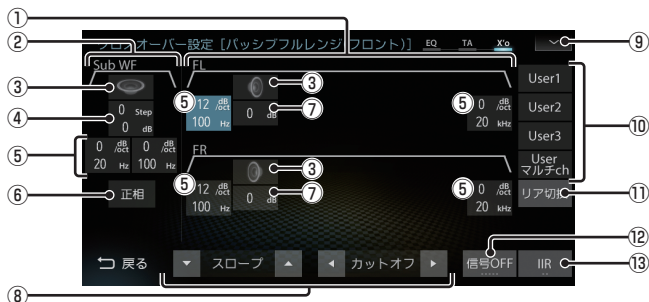
タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、タイムアライメントの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

■ クロスオーバー設定

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワークの設定を行います。
システム構成によって画面が異なります。

フロント (パッシブフルレンジ)



※「システム構成図」(P11)のA-1, A-2, B-1, B-2, C-1, C-2, C-3, D-1, D-2, D-3のときに表示される画面です。

① フルレンジの情報

② サブウーファースの情報

③ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

④ Step dB

選択すると、サブウーファースのローバースト(P47)とゲイン(0.5dB/1step)をファンクションボタンで調整できます。
(上:ローバースト, 下:ゲイン)

⑤ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑥ 正相, 逆相

タップするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

⑦ dB

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。
(0.2dB/1step)

⑧ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

▼ゲイン▲: ゲインの調整

▼ローバースト▲: ローバーストの調整

▼スロープ▲: スロープの調整

◀カットオフ▶: カットオフ周波数の調整

⑨ (→P40)

タップすると、サブメニューを表示します。

⑩ ,

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑪

リアスピーカー側の設定画面を表示します。

⑫ (→P40)

タップするたびに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑬ / ※1

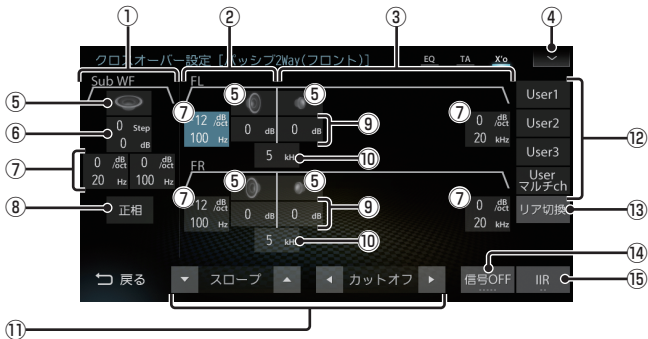
タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

フロント (パッシブ 2Way)



※ 「システム構成図」(P11)のE-1、E-2、F-1、F-2、G-1、G-2、G-3、H-1、H-2、H-3のときに表示される画面です。

① サブウーファースの情報

② ウーファースの情報

③ ツィーターの情報

④ ▼ (→P40)

タップすると、サブメニューを表示します。

⑤ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑥ ○Step ○.○dB

選択すると、サブウーファースのローブースト(P47)とゲイン(0.5dB/1step)をファンクションボタンで調整できます。(上:ローブースト,下:ゲイン)

⑦ ○dB/oct ○.○Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ,下:カットオフ周波数)

⑧ 正相, 逆相

タップするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

⑨ ○.○dB

選択すると、そのスピーカースのゲインをファンクションボタンで調整できます。(0.2dB/1step)

⑩ ○○.○kHz

選択すると、各スピーカース間のクロスオーバー周波数をファンクションボタンで調整できます。

⑪ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

▼ゲイン▲:ゲインの調整

◀ローブースト▶:ローブーストの調整

▼スロープ▲:スロープの調整

◀カットオフ▶:カットオフ周波数の調整

◀クロス▶:クロスオーバー周波数の調整

⑫ User○, Userマルチch

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑬ リア切換

リアスピーカース側の設定画面を表示します。

⑭ 信号○ (→P40)

タップするたびに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑮ IIR / FIR ※1

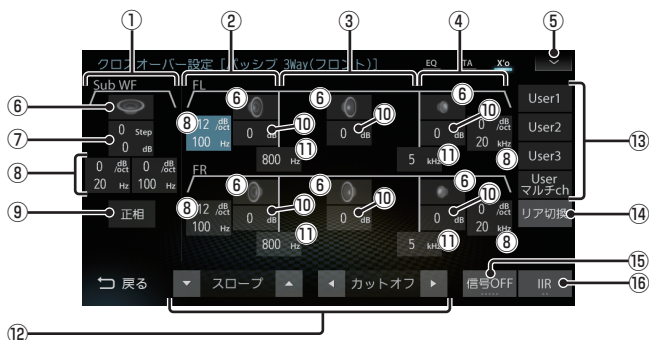
タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

注意

- 各スピーカースの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカース破損の原因となります。必ず各スピーカースの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

フロント (パッシブ 3Way)



※「システム構成図」(P11)のI-1, I-2, J-1, J-2, K-1, K-2, K-3, L-1, L-2, L-3のときに表示される画面です。

① サブウーファースの情報
② ウーファースの情報
③ ミッドレンジの情報
④ ツィーターの情報
⑤

タップすると、サブメニューを表示します。

⑥ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑦ Step dB

選択すると、サブウーファースのローブースト(P47)とゲイン(0.5dB/1 step)をファンクションボタンで調整できます。(上:ローブースト, 下:ゲイン)

⑧ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑨ 正相, 逆相

タップするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

⑩ dB

選択すると、そのスピーカースのゲインをファンクションボタンで調整できます。(0.2dB/1 step)

⑪ Hz

選択すると、各スピーカース間のクロスオーバー周波数をファンクションボタンで調整できます。

⑫ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

▼ゲイン▲:ゲインの調整

◀ローブースト▶:ローブーストの調整

▼スロープ▲:スロープの調整

◀カットオフ▶:カットオフ周波数の調整

◀クロス▶:クロスオーバー周波数の調整

⑬ User , User マルチch

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User]に登録することをおすすめします。

注意

- 各スピーカースの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカース破損の原因となります。必ず各スピーカースの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

⑭ リア切換

リアスピーカース側の設定画面を表示します。

⑮ 信号 (→P40)

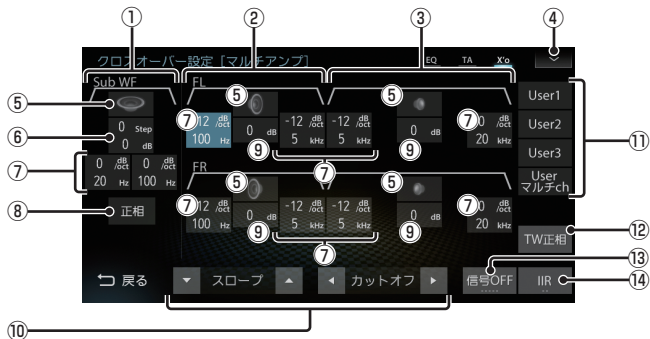
タップするたびに[信号 1]→[信号 2]→[信号 3]→[信号 4]→[信号 OFF]→[信号 1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑯ IIR / FIR ^{※1}

タップするたびに、IIR フィルターと FIR フィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIR フィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIR フィルターに切り換えてから行ってください。

フロント (マルチアンプ)



※ 「システム構成図」(P11) のE-3, E-4, F-3, F-4のときに表示される画面です。

① サブウーファーの情報

② ウーファーの情報

③ ツィーターの情報

④

タップすると、サブメニューを表示します。

⑤ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑥ Step dB

選択すると、サブウーファーのローバースト(P47)とゲイン(0.5dB/1step)をファンクションボタンで調整できます。
(上:ローバースト, 下:ゲイン)

⑦ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑧ 正相 逆相

タップするたびに、サブウーファーの正相と逆相を切り換えることができます。

⑨ dB Hz

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。
(0.2dB/1step)

⑩ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

: ゲインの調整

: ローバーストの調整

: スロープの調整

: カットオフ周波数の調整

⑪ User○ Userマルチch

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑫ TW正相 TW逆相

タップするたびにツィーターの正相と逆相を切り換えることができます。

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

⑬ 信号○ (→P40)

タップするたびに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑭ IIR / FIR ※1

タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

フロント(マルチ+パッシブ 3Way/H)



※ 「システム構成図」(P11)のI-3, I-4, J-3, J-4のときに表示される画面です。

① ウーファーの情報

② サブウーファーの情報

③ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

④ Step dB

選択すると、サブウーファーのローバースト(P47)とゲイン(0.5dB/1step)をファンクションボタンで調整できます。(上:ローバースト,下:ゲイン)

⑤ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ,下:カットオフ周波数)

⑥ 正相, 逆相

タップするたびに、サブウーファーの正相と逆相を切り換えることができます。

⑦ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

- : ゲインの調整
- : ローバーストの調整
- : スロープの調整
- : カットオフ周波数の調整
- : クロスオーバー周波数の調整

⑧ ミッドレンジの情報

⑨ ツィーターの情報

⑩ ▼

タップすると、サブメニューを表示します。

⑪ dB

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。(0.2dB/1step)

⑫

選択すると、各スピーカー間のクロスオーバー一周波数をファンクションボタンで調整できます。

⑬ User , Userマルチch

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑭ MID/TW正相, MID/TW逆相

タップするたびに、ミッドレンジとツィーターの正相と逆相を切り換えることができます。

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

⑮ 信号○ (→P40)

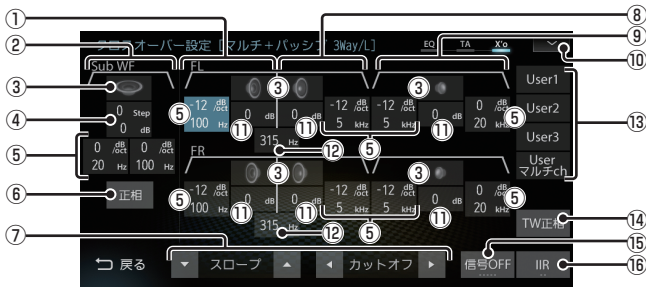
タップするたびに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑯ IIR / FIR ※1

タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

フロント (マルチ+パッシブ 3Way/L)



※ 「システム構成図」(P11)のI-5、I-6、J-5、J-6のときに表示される画面です。

① ウーファースの情報

② サブウーファースの情報

③ スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

④ Step dB

選択すると、サブウーファースのローブースト(P47)とゲイン(0.5dB/1step)をファンクションボタンで調整できます。(上:ローブースト,下:ゲイン)

⑤ dB/oct Hz

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。(上:スロープ,下:カットオフ周波数)

⑥ 正相 逆相

タップするたびに、サブウーファースの正相と逆相を切り換えることができます。

⑦ ファンクションボタン

選択状態によって以下の調整が行えます。

- ゲイン** : ゲインの調整
- ローブースト** : ローブーストの調整
- スロープ** : スロープの調整
- カットオフ** : カットオフ周波数の調整
- クロス** : クロスオーバー周波数の調整

⑧ ミッドレンジの情報

⑨ ツィーターの情報

⑩

タップすると、サブメニューを表示します。

⑪ 0.0dB

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。(0.2dB/1step)

⑫ 0.0Hz

選択すると、各スピーカー間のクロスオーバー一周波数をファンクションボタンで調整できます。

⑬ User , Userマルチch

タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User〇]に登録することをおすすめします。

⑭ TW正相 TW逆相

タップするたびに、ツィーターの正相と逆相を切り換えることができます。

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

⑮ 信号〇 (→P40)

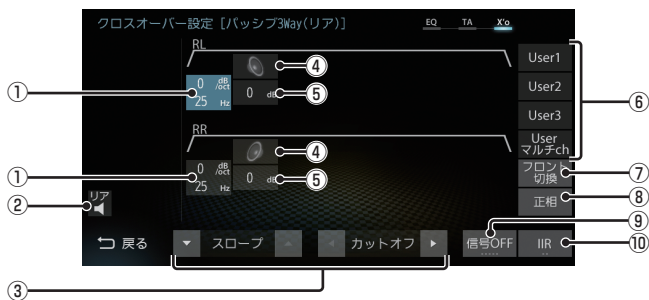
タップするたびに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑯ IIR / FIR ※1

タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。


※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

リア




※ 画面例はフロント3Way + リア装着状態です。

※ リアスピーカー側の設定画面は、「初期設定」(P7)の「システム構成」で「マルチ」または「マルチ+P」を選択していた場合は表示できません。


- ① **○dB/oct ○.○Hz**
ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)
- ② 
タップするとリアスピーカーがミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。
- ③ **ファンクションボタン**
選択状態によって以下の調整が行えます。
▼ゲイン▲ : ゲインの調整
▼スロープ▲ : スロープの調整
◀カットオフ▶ : カットオフ周波数の調整
- ④ **スピーカーイラスト**
タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。
- ⑤ **○.○dB**
選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。
(0.5dB/1 step)
- ⑥ **User○** , **Userマルチch**
タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。
- ⑦ **フロント切換**
フロントスピーカー側の設定画面を表示します。
- ⑧ **正相** , **逆相**
タップするたびに、正相と逆相を切り換えることができます。
- ⑨ **信号○** (→P40)
タップするたびにに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。
- ⑩ **IIR** / **FIR** ^{※1}
タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。


■ タイムアライメント設定のサブメニュー

タイムアライメント設定画面で  にタップして表示するサブメニューについて説明します。




2chからマルチchにコピー	2chの設定内容を [User マルチch] にコピーします。
	サブメニューを閉じます。

■ クロスオーバー設定のサブメニュー

クロスオーバー設定画面で  にタップして表示するサブメニューについて説明します。

フロント



FLからFRにコピー	左側の設定内容を右側にコピーします。
FRからFLにコピー	右側の設定内容を左側にコピーします。
2chからマルチchにコピー	2chの設定内容を [User マルチch] にコピーします。
	サブメニューを閉じます。

■ テスト信号について

タイムアライメント、クロスオーバー設定に使用するテスト信号について説明します。

タイムアライメント

タイムアライメント設定画面で [信号 OFF] にタップすると、[信号 ON] に変わりテスト信号が出力されます。

タップするたびに [信号 ON] → [信号 OFF] → [信号 ON] と切り換わります。

テスト信号は低音の定位調整用です。周期的に「ポン、ポン」という音が出力されます。この音を聴きながらタイムアライメントの値を微調整することで、低音の定位位置やサブウーファースの音調整をスムーズに行うことができます。

クロスオーバー

クロスオーバー設定画面で [信号 OFF] にタップすると、[信号 1] に変わりテスト信号が出力されます。タップするたびに [信号 1] → [信号 2] → [信号 3] → [信号 4] → [信号 OFF] → [信号 1] と切り換わります。テスト信号はピンクノイズが出力されます。

[信号 1]	FL+FRのみ出力されます。
[信号 2]	FR+RRのみ出力されます。
[信号 3]	RL+RRのみ出力されます。
[信号 4]	FL+RLのみ出力されます。

■ イコライザー調整

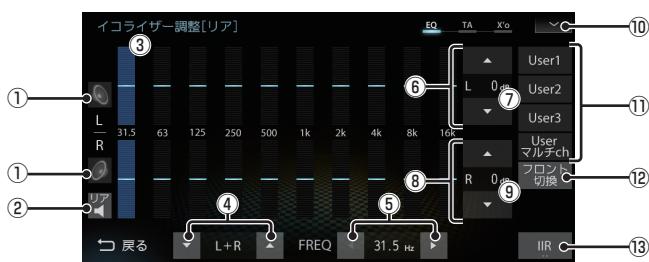
アジャスタブルFIRグラフィックイコライザーの調整を行います。

フロント側で31バンド、リア側で10バンドの左右独立イコライザーを調整できます。

フロント



リア



① スピーカーイラスト

タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

②

タップするとリアスピーカーがミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

③ 選択中の周波数

選択している周波数を表示します。

④

タップすると、選択中の周波数を左右同時に調整します。

⑤ 周波数選択ボタン

タップすることで、調整する周波数を選択できます。

⑥

タップすると、選択中の周波数の左側を調整します。

⑦ 左側設定値

選択中の周波数の設定値を表示します。

⑧

タップすると、選択中の周波数の右側を調整します。

⑨ 右側設定値

選択中の周波数の設定値を表示します。

⑩

タップすると、サブメニューを表示します。
→「イコライザー調整のサブメニュー」(P42)

⑪ ,

タップすると、前回登録したイコライザー設定を呼び出します。ロングタップすると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑫ /

リアスピーカーまたはフロントスピーカー側の設定画面を表示します。


⑬ /

タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※ リアスピーカー側の設定画面は、「初期設定」(P7)の「システム構成」で[マルチ]または[マルチ+P]を選択していた場合は表示できません。


※ 1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

■ イコライザー調整のサブメニュー

イコライザー調整画面で  にタップして表示するサブメニューについて説明します。


フロント



FLからFRにコピー	左側の設定内容を右側にコピーします。
FRからFLにコピー	右側の設定内容を左側にコピーします。
2chからマルチchにコピー	2chの設定内容を [User マルチch] にコピーします。
フラット	すべての周波数の調整レベルをフラット ($\pm 0\text{dB}$) にします。
	サブメニューを閉じます。

リア

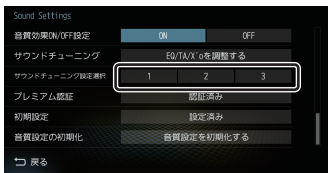


RLからRRにコピー	左側の設定内容を右側にコピーします。
RRからRLにコピー	右側の設定内容を左側にコピーします。
フラット	すべての周波数の調整レベルをフラット ($\pm 0\text{dB}$) にします。
	サブメニューを閉じます。

User 設定を切り換える

「タイムアライメント設定」(P32) や「クロスオーバー設定」(P33)、「イコライザー調整」(P41) でメモリーした設定を呼び出し、サウンドチューニングを切り換えることができます。Tuning Bridge カードが挿入されていない状態でも切り換えることができます。

1 Sound Settings の画面で「サウンドチューニング設定選択」の項目にタップする



切り換えたいメモリーにタップします。

設定の切り換えが完了します。

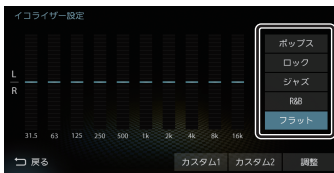
イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整し、補正できるアジャスタブル FIR グラフィックイコライザーの調整を行います。

■ ジャンルを選ぶ

1 Sound Settings の画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 好みの“ジャンル”にタップする



イコライザーの選択が完了します。

■ イコライザーを調整する

本調整はフロントスピーカーとリアスピーカーを同時に調整します。

お知らせ

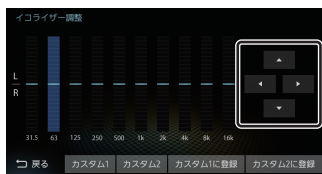
- 先に「サウンドチューニング」(P29)でイコライザー調整を行っていただくことをおすすめいたします。

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 調整のためのベースにしたい「ジャンル」にタップする

3 **調整** にタップする

4 カーソルボタンで各周波数のレベルを調整する



5 **カスタム1に登録** または、**カスタム2に登録** にタップする

[カスタム1]または、[カスタム2]に調整したイコライザー情報を登録します。

アドバイス

- 手順4で画面にタップすることでも直接変更できます。
- 手順5で[カスタム〇に登録]を行わず[戻る]にタップした場合、変更内容は破棄されます。

PremiDIA Bass

時間軸方向の低音の残響時間を調整できます。この設定を行うと低音の量感、厚みを増強できます。

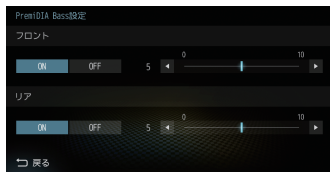
フロント/リアでの個別の設定ができます。

1 Sound Settingsの画面で「PremiDIA Bass」の項目にタップする

PremiDIA Bass 設定画面を表示します。

2 フロントまたはリアの **ON** にタップする

3 左右カーソルボタンでレベルを調整する



レベルを10方向へ補正すると低音の量感、厚みを増強できます。

4 **戻る** にタップする

PremiDIA Bassの設定が完了します。

アドバイス

- PremiDIA Bassを使用しない場合は、[OFF]にタップします。

PremiDIA VBL

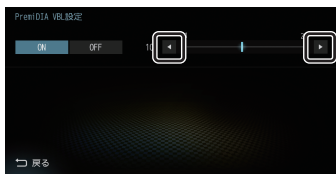
自動で低音をカットする補正值を設定できます。この設定を行うと、大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。

1 Sound Settings の画面で「PremiDIA VBL」の項目にタップする

PremiDIA VBL 設定画面を表示します。

2 **ON** にタップする

3 左右カーソルボタンでレベルを調整する



レベルを 20 方向へ補正するとより低音を抑えることができます。

4 **戻る** にタップする

▼
PremiDIA VBL の設定が完了します。

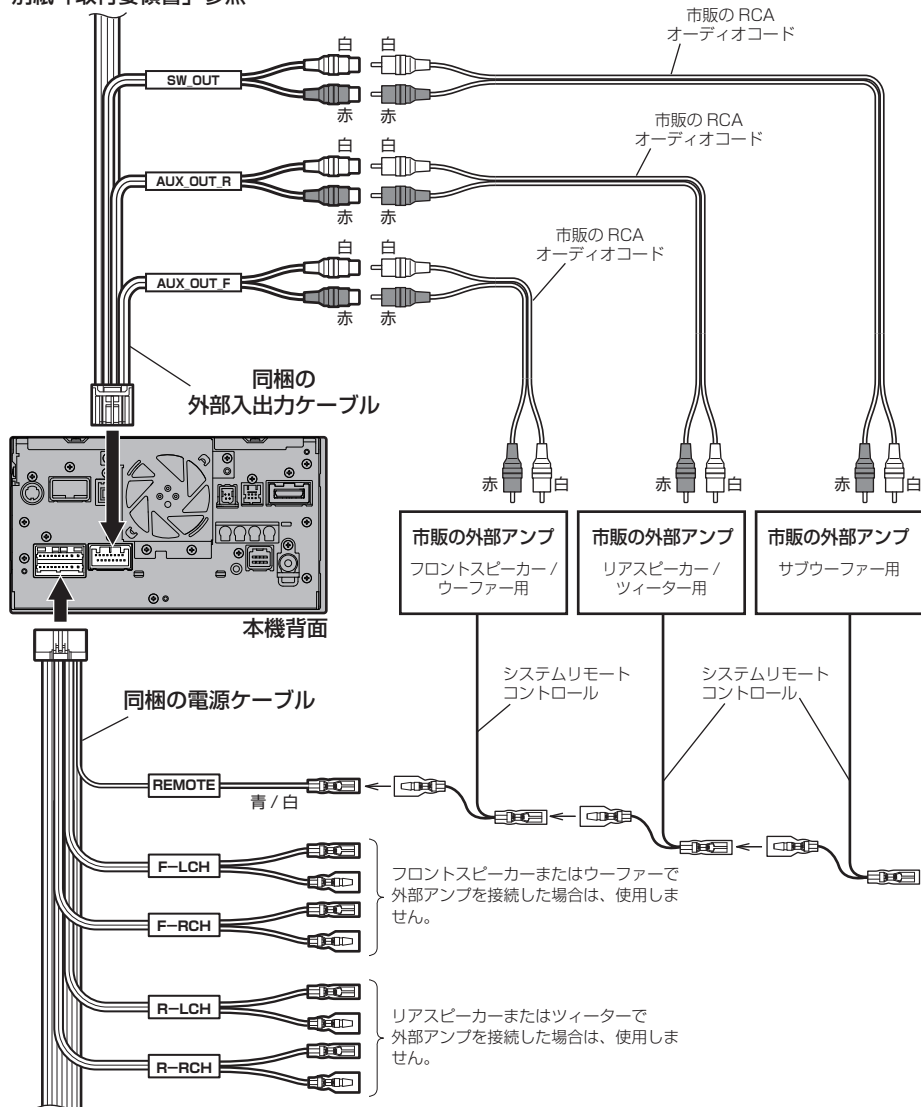
アドバイス

- PremiDIA VBL を使用しない場合は、手順 2 で [OFF] にタップします。

Other

外部アンプを使用する場合の接続方法

別紙「取付要領書」参照



別紙「取付要領書」参照

用語解説

音質調整に関する用語を説明します。

アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー

現在イコライザーの主流となっているIIR（無限インパルス応答）方式は、調整は容易ですが演算回数が多く演算誤差が蓄積されるため音質が著しく劣化します。

一方FIR（有限インパルス応答）方式は、演算回数が少なく音質劣化は最小限に抑えますが、任意の周波数ポイントでの個別調整が難しいという特性があり、イコライザーへの使用は困難でした。

「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」は、調整時は40bitIIR方式で演算し、再生時には一旦64bit演算コアに高精度演算変換をした後、さらにFIR演算方式に変換するため、容易な調整操作と高音質の両立を実現しています。

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワーク

スピーカーユニットごとに再生周波数帯域や音量バランスを任意に設定できるのが、クロスオーバーネットワークです。

この機能も「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」と同一の信号処理によって実現されており、64bit演算コアの高精度演算をFIR演算に変換することで、音質を飛躍的に高めました。

イコライザー

周波数特性を調節することができる装置や機能のことを言います。

音像

スピーカーから出力された音で再現されるボーカル、楽器などの位置や輪郭を言います。

音場

スピーカーから出力された音で再現される演奏状況や空間を言います。

カットオフ周波数

ハイパスフィルターやローパスフィルターで減衰させたポイントの周波数を言います。

クロスオーバー

クロスオーバーネットワークとも言い、2Wayや3Wayスピーカーで再生周波数帯域を分割する機能や装置のことを言います。

クロスオーバー周波数

クロスオーバーネットワークで分割された周波数帯域の境目を言います。

ゲイン

電気回路の増幅器によって電気信号を増幅すること、またはその増幅の値のことを言います。

スロープ

ハイパスフィルターやローパスフィルターでの減衰度合いを言います。

1オクターブあたり何デシベル落ちるかを設定するもので、マイナスの値が大きいほど急激に減衰し小さいほど緩やかに減衰します。

タイムアライメント

各スピーカーからリスニングポジションまでの音の到達時間を補正する機能のことを言います。

この機能を使用することで、中央で聴くことができない車の中で音の聴こえるタイミングを合わせることができます。

ハイパスフィルター

ローカットフィルターとも言い、高い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して低い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

パッシブクロスオーバーネットワーク

アンプ（本機または別売の外部アンプ）とスピーカーとの間に設置するもので、各スピーカーが持っている再生周波数帯域に分割した信号を送り込む装置（コイル、コンデンサなど）のことを言います。

フルレンジスピーカー

高域から低域までの周波数帯域を1つのユニットでカバーするスピーカーのことを言います。実際には音楽CDの周波数帯域をすべてカバーすることが難しいため、2Wayや3Wayなどのスピーカーを使用することが一般的とされています。

マルチアンプシステム

2Way や 3Way など で 用 い ら れ る 方 法 で、高 音 / 中 音 / 低 音 の そ れ ぞ れ の 音 域 に 対 し て、専 用 の アンプ を 接 続 し 動 作 さ せ る シ ス テ ム で す。

リスニングポジション

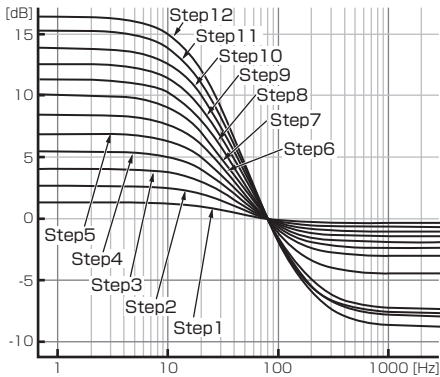
音を最適に聴く位置のことを言います。

ローパスフィルター

ハイカットフィルターとも言い、低い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して高い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

ローブースト

低域だけを持ち上げる機能のことを言います。



表示	特性 (dB/oct)
Step 0	Flat
Step 1	0.5
Step 2	1.0
Step 3	1.5
Step 4	2.0
Step 5	2.5
Step 6	3.0
Step 7	3.5
Step 8	4.0
Step 9	4.5
Step 10	5.0
Step 11	5.5
Step 12	6.0

FIRフィルター

有限インパルス応答方式のデジタルフィルターです。

任意の周波数ポイントでの個別調整には向きませんが、演算誤差が蓄積されないため、音質劣化が最小限に抑えることができます。

IIRフィルター

無限インパルス応答方式のデジタルフィルターです。任意の周波数ポイントでの個別調整が容易に行える反面、演算誤差が蓄積されるためFIRフィルターと比べると音質が劣化する傾向にあります。

2Wayスピーカー

ツイーターとウーファーなど2つのユニットで構成されるスピーカーです。2つのユニットを組み合わせることで高域と低域をカバーすることが可能となります。

2つのスピーカーに分かれたセパレートタイプや1つのスピーカーに2つのユニットが装着されたコアキシャルタイプがあります。

3Wayスピーカー

ツイーターとミッドレンジ、ウーファーと3つのユニットで構成されるスピーカーです。3つのユニットを組み合わせることで高域、中域、低域をカバーすることが可能となります。2Wayよりもそれぞれのスピーカーの特性を活かすことができるため、余裕を持って動作させることができます。

仕様

- ・ 下記以外の内容については、別冊の取扱説明書（基本操作版）をご覧ください。
- ・ 詳しくは三菱電機のホームページをご覧ください。
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/carnavi/nr-mz200/>
- ・ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

■ イコライザー部

31バンド グラフィックイコライザー (フロント 左右独立)	調整周波数 20/25/31.5/40/50/63/80/100/125/160/200/ 250/315/400/500/630/800/1k/1.25k/1.6k/2k/ 2.5k/3.15k/4k/5k/6.3k/8k/10k/12.5k/16k/20k (Hz) 調整幅 ± 9dB (0.5dB/1 step)
10バンド グラフィックイコライザー (リア 左右独立)	調整周波数 31.5/63/125/250/500/1k/2k/4k/8k/16k (Hz) 調整幅 ± 9dB (0.5dB/1 step)
10バンド グラフィックイコライザー (フロント/リア 左右共通)	調整周波数 31.5/63/125/250/500/1k/2k/4k/8k/16k (Hz) 調整幅 ± 12dB (1dB/1 step)

■ タイムアライメント部

タイムアライメント 遅延時間	マルチチャンネル タイムアライメント	調整範囲 各チャンネル (サブウーファー以外) 0 ~ 5.6ms (192cm 相当) サブウーファーチャンネル 0 ~ 10.0ms (339cm 相当) 調整単位 0.02ms/1 step (0.77cm 相当)
	マルチウェイ タイムアライメント	調整範囲 各帯域 0 ~ 5.6ms (192cm 相当) 調整単位 0.02ms/1 step (0.77cm 相当)
タイムアライメント設定システム構成		最大 4Way (フロント 3Way + リア) + サブウーファー

■ クロスオーバーネットワーク部

パッシブシステム (スピーカー ネットワーク使用)	フロント	2Way クロス周波数 800Hz ~ 10kHz 1/3oct 3Way クロス周波数 160Hz ~ 10kHz 1/3oct 800Hz ~ 10kHz 1/3oct HPF周波数 25Hz ~ 250Hz 1/3oct LPF周波数 8kHz ~ 20kHz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -8dB ~ +6dB (± 0.2 d B/ 1 step) (左右独立各スピーカー単位)
	リア	HPF周波数 25Hz ~ 250Hz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -24dB ~ +10dB (± 0.5 d B/ 1 step) (左右独立) 位相 正相 / 逆相
マルチアンプシステム (フロント2Way)	低域 (フロントCH 使用)	HPF周波数 25Hz ~ 250Hz 1/3oct LPF周波数 200Hz ~ 20kHz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -8dB ~ +6dB (± 0.2 d B/1 step) (左右独立各スピーカー単位)
	高域 (リアCH使用)	HPF周波数 160Hz ~ 20kHz 1/3oct LPF周波数 8kHz ~ 20kHz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -8dB ~ +6dB (± 0.2 d B/1 step) (左右独立各スピーカー単位) 位相 正相 / 逆相

マルチ+パッシブシステム (HIGHシステム)	低域 (フロントCH 使用)	HPF周波数 25Hz ~ 250Hz 1/3oct LPF周波数 250Hz ~ 10kHz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -8dB ~ +6dB (± 0.2 d B/1 step) (左右独立各スピーカー単位)
	高域 (リアCH使用)	MID/TWクロス周波数 800Hz ~ 10kHz 1/3oct HPF周波数 160Hz ~ 10kHz 1/3oct LPF周波数 8kHz ~ 20kHz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -8dB ~ +6dB (± 0.2 d B/1 step) (左右独立各スピーカー単位) 位相 正相/逆相
マルチ+パッシブシステム (LOWシステム)	低域 (フロントCH 使用)	WF/MIDクロス周波数 160Hz ~ 10kHz 1/3oct HPF周波数 25Hz ~ 250Hz 1/3oct LPF周波数 250Hz ~ 10kHz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -8dB ~ +6dB (± 0.2 d B/1 step) (左右独立各スピーカー単位)
	高域 (リアCH使用)	HPF周波数 160Hz ~ 10kHz 1/3oct LPF周波数 8kHz ~ 20kHz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -8dB ~ +6dB (± 0.2 d B/1 step) (左右独立各スピーカー単位) 位相 正相/逆相
サブウーファー (モノラル)		HPF周波数 20Hz ~ 160Hz 1/3oct LPF周波数 40Hz ~ 250Hz 1/3oct スロープ Flat -6dB/oct ~ -72dB/oct 調整ステップ -24dB ~ +10B (± 0.5 d B/1 step) 位相 正相/逆相 ローパス Flat +0.5dB/oct ~ +6dB/oct (0.5 d B/oct/1 step)

お客さまへ

❗ メモを取っておいてください

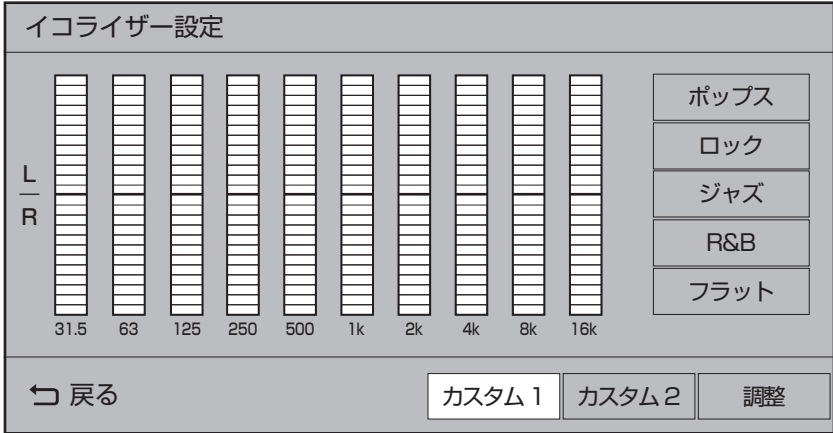
- 「イコライザー設定」および「イコライザー調整」、「タイムアライメント設定」、「クロスオーバー設定」の内容をメモを取っておいてください。
- 本紙は大事に保管し、万が一設定内容が消えてしまった場合に確認し、設定してください。

イコライザー設定

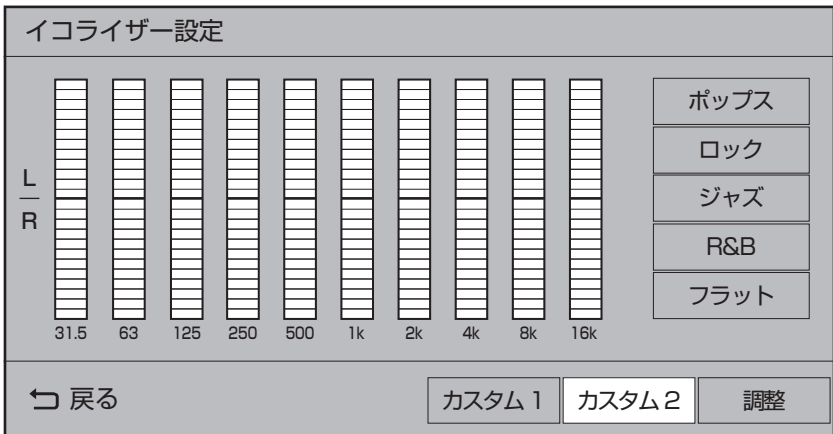
オーディオ再生中に、**AV** キー→ **Sound Settings** → “イコライザー” の **カスタム1** または **カスタム2** にタップすると表示する画面です。

イコライザーのレベルを塗りつぶしてください。

カスタム1用



カスタム2用



フロントスピーカーのイコライザー調整(プレミアムモードのみ)

オーディオ再生中に、**AV** キー→ **Sound Settings** → “サウンドチューニング” の **EQ/TA/X'o** を調整する にタップし、画面を右にスライドすると表示する画面です。下表に各数字を記入してください。

User1用



周波数 (Hz)	L (dB)	R (dB)	L (dB)	R (dB)
20	-	+	-	+
25	-	+	-	+
31.5	-	+	-	+
40	-	+	-	+
50	-	+	-	+
63	-	+	-	+
80	-	+	-	+
100	-	+	-	+
125	-	+	-	+
160	-	+	-	+
200	-	+	-	+
250	-	+	-	+
315	-	+	-	+
400	-	+	-	+
500	-	+	-	+
630	-	+	-	+
800	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
1.25k	-	+	-	+
1.6k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
2.5k	-	+	-	+
3.15k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
5k	-	+	-	+
6.3k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
10k	-	+	-	+
12.5k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+
20k	-	+	-	+

User2用



周波数 (Hz)	L (dB)	R (dB)	L (dB)	R (dB)
20	-	+	-	+
25	-	+	-	+
31.5	-	+	-	+
40	-	+	-	+
50	-	+	-	+
63	-	+	-	+
80	-	+	-	+
100	-	+	-	+
125	-	+	-	+
160	-	+	-	+
200	-	+	-	+
250	-	+	-	+
315	-	+	-	+
400	-	+	-	+
500	-	+	-	+
630	-	+	-	+
800	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
1.25k	-	+	-	+
1.6k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
2.5k	-	+	-	+
3.15k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
5k	-	+	-	+
6.3k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
10k	-	+	-	+
12.5k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+
20k	-	+	-	+

次のページにつづく

User3用



周波数 (Hz)	L (dB)		R (dB)	
20	-	+	-	+
25	-	+	-	+
31.5	-	+	-	+
40	-	+	-	+
50	-	+	-	+
63	-	+	-	+
80	-	+	-	+
100	-	+	-	+
125	-	+	-	+
160	-	+	-	+
200	-	+	-	+
250	-	+	-	+
315	-	+	-	+
400	-	+	-	+
500	-	+	-	+
630	-	+	-	+
800	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
1.25k	-	+	-	+
1.6k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
2.5k	-	+	-	+
3.15k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
5k	-	+	-	+
6.3k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
10k	-	+	-	+
12.5k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+
20k	-	+	-	+

User マルチ ch 用



周波数 (Hz)	L (dB)		R (dB)	
20	-	+	-	+
25	-	+	-	+
31.5	-	+	-	+
40	-	+	-	+
50	-	+	-	+
63	-	+	-	+
80	-	+	-	+
100	-	+	-	+
125	-	+	-	+
160	-	+	-	+
200	-	+	-	+
250	-	+	-	+
315	-	+	-	+
400	-	+	-	+
500	-	+	-	+
630	-	+	-	+
800	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
1.25k	-	+	-	+
1.6k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
2.5k	-	+	-	+
3.15k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
5k	-	+	-	+
6.3k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
10k	-	+	-	+
12.5k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+
20k	-	+	-	+

リアスピーカーのイコライザー調整 (プレミアムモードのみ)

イコライザー調整画面 (フロント) 表示中、**[リア切換]** にタップすると表示する画面です。下表に各数字を記入してください。

※ [パッシブ]のみ

User1用



周波数 (Hz)	L (dB)		R (dB)	
31.5	-	+	-	+
63	-	+	-	+
125	-	+	-	+
250	-	+	-	+
500	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+

User3用



周波数 (Hz)	L (dB)		R (dB)	
31.5	-	+	-	+
63	-	+	-	+
125	-	+	-	+
250	-	+	-	+
500	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+

User2用



周波数 (Hz)	L (dB)		R (dB)	
31.5	-	+	-	+
63	-	+	-	+
125	-	+	-	+
250	-	+	-	+
500	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+

Userマルチch用



周波数 (Hz)	L (dB)		R (dB)	
31.5	-	+	-	+
63	-	+	-	+
125	-	+	-	+
250	-	+	-	+
500	-	+	-	+
1k	-	+	-	+
2k	-	+	-	+
4k	-	+	-	+
8k	-	+	-	+
16k	-	+	-	+

タイムアライメント設定

オーディオ再生中に、**AV** キー→ **Sound Settings** → “サウンドチューニング” の **EQ/TA/X'o** を調整する にタップすると表示する画面です。
各数字を記入してください。

User1 用

タイムアライメント設定

EQ TA X'o

FL TW cm

FL MID cm

FL WF cm

RL cm

Sub WF cm

FR TW cm

FR MID cm

FR WF cm

RR cm

User1

User2

User3

User
マルチ ch

戻る

信号OFF

IIR

User2 用

タイムアライメント設定

EQ TA X'o

FL TW cm

FL MID cm

FL WF cm

RL cm

Sub WF cm

FR TW cm

FR MID cm

FR WF cm

RR cm

User1

User2

User3

User
マルチ ch

戻る

信号OFF

IIR

User3用

タイムアライメント設定 EQ TA X'o

FL TW	<input type="text" value="cm"/>		FR TW	<input type="text" value="cm"/>	User1
FL MID	<input type="text" value="cm"/>		FR MID	<input type="text" value="cm"/>	User2
FL WF	<input type="text" value="cm"/>		FR WF	<input type="text" value="cm"/>	User3
RL	<input type="text" value="cm"/>		RR	<input type="text" value="cm"/>	Userマルチ ch
			Sub WF	<input type="text" value="cm"/>	

戻る 信号OFF IIR

Other

Userマルチ ch用

タイムアライメント設定 EQ TA X'o

FL TW	<input type="text" value="cm"/>		FR TW	<input type="text" value="cm"/>	User1
FL MID	<input type="text" value="cm"/>		FR MID	<input type="text" value="cm"/>	User2
FL WF	<input type="text" value="cm"/>		FR WF	<input type="text" value="cm"/>	User3
RL	<input type="text" value="cm"/>		RR	<input type="text" value="cm"/>	Userマルチ ch
			Sub WF	<input type="text" value="cm"/>	

戻る 信号OFF IIR

クロスオーバー設定 (フロント)

オーディオ再生中に、**AV** キー → **Sound Settings** → “サウンドチューニング” の **EQ/TA/X'o** を調整する にタップし、画面を左にスライドすると表示される画面です。各数字を記入してください。

■ フロント [パッシブフルレンジ] の場合

User1 用

クロスオーバー設定[パッシブフルレンジ(フロント)] EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step
dB

dB/oct
Hz

dB/oct
Hz

dB/oct
Hz

dB/oct
kHz

dB/oct
kHz

dB/oct
kHz

正・逆相

User1

User2

User3

Userマルチch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IR

User2 用

クロスオーバー設定[パッシブフルレンジ(フロント)] EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step
dB

dB/oct
Hz

dB/oct
Hz

dB/oct
Hz

dB/oct
kHz

dB/oct
kHz

dB/oct
kHz

正・逆相

User1

User2

User3

Userマルチch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IR

User3用

クロスオーバー設定[パッシブフルレンジ(フロント)] EQ TA Xo

The screen displays crossover settings for three channels: Sub WF, FL (Front Left), and FR (Front Right). Each channel has a frequency response graph and several control boxes. The Sub WF channel includes a 'Step' box, two 'dB/oct' boxes with 'Hz' labels, and a '正・逆相' (Phase) box. The FL and FR channels each have a 'dB/oct' box with 'Hz' labels and a 'dB' box. On the right side, there are buttons for 'User1', 'User2', 'User3', 'Userマルチch', and 'リア切換'. At the bottom, there are navigation buttons: '戻る', 'スロープ', 'カットオフ', '信号OFF', and 'IR'.

Userマルチch用

クロスオーバー設定[パッシブフルレンジ(フロント)] EQ TA Xo

This screen is identical to the User3 screen, showing crossover settings for Sub WF, FL, and FR channels. It includes the same frequency response graphs, control boxes (Step, dB/oct, Hz, dB, 正・逆相), and navigation buttons (戻る, スロープ, カットオフ, 信号OFF, IR) on the right and bottom.

Other

■ フロント[パッシブ2Way]の場合

User1用

クロスオーバー設定[パッシブ2Way(フロント)]

EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step dB

dB/oct Hz

dB/oct Hz

正・逆相

dB/oct Hz

dB dB

kHz

dB/oct kHz

dB/oct kHz

kHz

kHz

kHz

User1

User2

User3

Userマルチ ch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IR

User2用

クロスオーバー設定[パッシブ2Way(フロント)]

EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step dB

dB/oct Hz

dB/oct Hz

正・逆相

dB/oct Hz

dB dB

kHz

dB/oct kHz

dB/oct kHz

kHz

kHz

kHz

User1

User2

User3

Userマルチ ch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IR

User3用

クロスオーバー設定[パッシブ2Way(フロント)] EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

dB/oct Hz dB kHz

Step dB

dB/oct Hz dB/oct Hz

正・逆相

User1

User2

User3

Userマルチch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IIR

Userマルチch用

クロスオーバー設定[パッシブ2Way(フロント)] EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

dB/oct Hz dB kHz

Step dB

dB/oct Hz dB/oct Hz

正・逆相

User1

User2

User3

Userマルチch

リア切換

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF

IIR

User3用

クロスオーバー設定[パッシブ3Way(フロント)] EQ TA X'o

Sub WF FL FR

Step dB /oct Hz dB kHz

dB /oct Hz dB kHz

dB /oct Hz dB kHz

正・逆 相

User1 User2 User3 Userマルチ ch リア切換

戻る スロープ カットオフ 信号OFF IIR

Userマルチ ch用

クロスオーバー設定[パッシブ3Way(フロント)] EQ TA X'o

Sub WF FL FR

Step dB /oct Hz dB kHz

dB /oct Hz dB kHz

dB /oct Hz dB kHz

正・逆 相

User1 User2 User3 Userマルチ ch リア切換

戻る スロープ カットオフ 信号OFF IIR

Other

■ フロント[マルチアンプ]の場合

User1 用

クロスオーバー設定[マルチアンプ]

EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step
dB

dB/oct Hz

dB/oct Hz

正・逆
相

dB/oct Hz

dB

dB/oct kHz

dB/oct kHz

dB

dB/oct kHz

dB/oct kHz

dB

dB/oct kHz

User1

User2

User3

User
マルチ ch

TW
正・逆
相

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF
00000

IR
00

User2 用

クロスオーバー設定[マルチアンプ]

EQ TA X'o

Sub WF

FL

FR

Step
dB

dB/oct Hz

dB/oct Hz

正・逆
相

dB/oct Hz

dB

dB/oct kHz

dB/oct kHz

dB

dB/oct kHz

dB/oct kHz

dB

dB/oct kHz

User1

User2

User3

User
マルチ ch

TW
正・逆
相

戻る

スロープ

カットオフ

信号OFF
00000

IR
00

User3用

クロスオーバー設定[マルチアンプ] EQ TA X'o

Sub WF

Step
dB

$\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz Hz

正・逆
相

FL

$\frac{dB}{oct}$ dB $\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz kHz kHz

FR

$\frac{dB}{oct}$ dB $\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz kHz kHz

User1

User2

User3

User
マルチ ch

TW
正・逆
相

戻る スロープ カットオフ 信号OFF 000000 00

Userマルチ ch用

クロスオーバー設定[マルチアンプ] EQ TA X'o

Sub WF

Step
dB

$\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz Hz

正・逆
相

FL

$\frac{dB}{oct}$ dB $\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz kHz kHz

FR

$\frac{dB}{oct}$ dB $\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz kHz kHz

User1

User2

User3

User
マルチ ch

TW
正・逆
相

戻る スロープ カットオフ 信号OFF 000000 00

■ フロント[マルチ+パッシブ 3Way/H]の場合

User1用

クロスオーバー設定[マルチ+パッシブ 3Way/H] EQ TA X'o ▾

Sub WF FL FR

Step
dB

$\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz Hz

正・逆
相

dB/oct dB dB/oct dB/oct dB dB dB/oct dB/oct
Hz Hz Hz kHz kHz

dB/oct dB dB/oct dB/oct dB dB dB/oct dB/oct
Hz Hz Hz kHz kHz

正・逆
相

戻る ▼ スロープ ▲ ◀ カットオフ ▶ 信号OFF IIR

User1
User2
User3
User
マルチ ch
MID/TW
正・逆
相

User2用

クロスオーバー設定[マルチ+パッシブ 3Way/H] EQ TA X'o ▾

Sub WF FL FR

Step
dB

$\frac{dB}{oct}$ $\frac{dB}{oct}$
Hz Hz

正・逆
相

dB/oct dB dB/oct dB/oct dB dB dB/oct dB/oct
Hz Hz Hz kHz kHz

dB/oct dB dB/oct dB/oct dB dB dB/oct dB/oct
Hz Hz Hz kHz kHz

正・逆
相

戻る ▼ スロープ ▲ ◀ カットオフ ▶ 信号OFF IIR

User1
User2
User3
User
マルチ ch
MID/TW
正・逆
相

User3用

クロスオーバー設定[マルチ+パッシブ 3Way/L] EQ TA X'o

Sub WF FL FR

User1
User2
User3
Userマルチch
TW
正・逆
相

dB/oct Hz dB kHz dB/oct kHz dB/oct kHz

Step dB Hz Hz

正・逆
相

戻る スローブ カットオフ 信号OFF

Userマルチch用

クロスオーバー設定[マルチ+パッシブ 3Way/L] EQ TA X'o

Sub WF FL FR

User1
User2
User3
Userマルチch
TW
正・逆
相

dB/oct Hz dB kHz dB/oct kHz dB/oct kHz

Step dB Hz Hz

正・逆
相

戻る スローブ カットオフ 信号OFF

Other

クロスオーバー設定(リア)

クロスオーバー設定画面(フロント)表示中、**リア切換** にタップすると表示する画面です。
各数字を記入してください。

■ リアの場合

User1用

The screenshot shows the 'クロスオーバー設定(リア)' screen. At the top, it says 'クロスオーバー設定[○○○○○(リア)]' and has sub-menus 'EQ', 'TA', and 'Xo'. The main area is divided into two sections: 'RL' (Right Left) and 'RR' (Right Right). Each section contains a crossover frequency graph with a 'dB/oct' slope indicator and a 'Hz' frequency input field. To the right of the graphs is a vertical list of user selection buttons: 'User1', 'User2', 'User3', 'Userマルチch', 'フロント切換', and '正・逆相'. A 'リア' button with a speaker icon is on the left. At the bottom, there are control buttons: '戻る', 'スロープ' (with up/down arrows), 'カットオフ' (with left/right arrows), '信号OFF', and 'IR'.

User2用

This screenshot is identical to the one for User 1, showing the 'クロスオーバー設定(リア)' screen with the same layout of crossover frequency graphs, user selection buttons, and control options.

User3用

クロスオーバー設定[○○○○○(リア)] EQ TA X_o

RL User1


RR User2

dB/oct dB

Hz

dB/oct dB

Hz

リア 

戻る スロープ カットオフ 信号OFF IR

User3
Userマルチch
フロント
切換
正・逆
相

Userマルチch用

クロスオーバー設定[○○○○○(リア)] EQ TA X_o

RL User1


RR User2

dB/oct dB

Hz

dB/oct dB

Hz

リア 

戻る スロープ カットオフ 信号OFF IR

User3
Userマルチch
フロント
切換
正・逆
相

Other

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)



N871L71041 16-09